Multimedia Storage Viewer™

# P-2500

# 操作ガイド（詳細編）



NPD2403-00

このたびは、弊社製品「 Multimedia Storage Viewer™ P-2500 」をお買い上げいただきありがとうございます。操作ガイド（基本編）および本ガイドには本製品を正しく安全にお使いいただくための使い方が記載されています。操作ガイド（基本編）および本ガイドをよくお読みになり、内容をご理解の上、正しくお使いください。
また、操作ガイド（基本編）は製品の不明点をいつでも解決できるように、いつでも見ることができる場所に、「保証書」とともに大切に保管してください。

## マニュアルについて

本製品には次のマニュアルが同梱されています。

### P-2500 操作ガイド（基本編）

ご購入後、初めてお使いになるときの準備や基本的な操作を説明しています。
また、本製品を使っていて困った状態になったときや、仕様の詳細、アフターサービスについてお知りになりたいときに、お読みください。

### P-2500 操作ガイド（詳細編）＜本ガイド＞

基本的な操作を、注意点や補足説明を加え、より詳しく説明しています。さらに、本製品を使いこなしていただくための便利な機能や設定について説明しています。

マニュアルは、すべて最新版（PDF 形式）を以下のホームページからダウンロードすることができます。
< http://www.epson.jp/guide/camera/ >

## 本ガイド中のイラスト／画面について

本ガイド中に掲載している画面とイラストは P-4500 のものを使用していますが、操作は P-2500 と同じです。

### 本書中のマークについて

本書では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。それぞれのマークには次のような意味があります。

| マーク | 意味 | マーク | 意味 |
|---|---|---|---|
| !注意 | 必ず知っておいていただきたいことを記載しています。 |  | 知っておくと便利なことを記載しています。 |
|  | 関連した内容の参照ページを示しています。 |  | 操作ガイド（基本編）の参照ページを示しています。 |

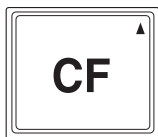
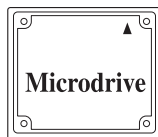
# もくじ

## ●付録……………………………………………………… 98

# メモリカードのデータをビューワに取り込む

## 使用できるメモリカード

本製品では以下のメモリカードを使用することができます。

●コンパクトフラッシュ（CF）カード（TYPE Ⅱ）

●マイクロドライブ

● SD メモリーカード 2GB まで使用可

● MMC（マルチメディアカード）1GB まで使用可

詳しくは、「本製品の仕様」（☞ 基本編 65 ページ）をご覧ください。

**参考**

その他のメモリカードをお使いの場合は、市販のアダプタカードが必要です。動作確認済みのアダプタカードについてはエプソンのホームページ（http://www.epson.jp）をご覧ください。

**SD メモリーカードのライトプロテクト（書き込み禁止）について**

SD メモリーカードの側面にあるノッチを「LOCK」方向にスライドさせると書き込み禁止となり、SD メモリーカード内のデータを保護することができます。ただし、SD メモリーカード内のデータを削除する場合は、書き込み禁止を解除してお使いください。

**! 注意**

メモリカードのデータを誤って消してしまわないために、以下のことに十分注意してください。

- メモリカードの端子面にホコリやゴミが付いた状態で使用しないでください。端子面が汚れていると、データの読み出しや書き込みができない場合があります。
- 本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。身体からの静電気は、データを消失・破損させるおそれがあります。
- メモリカードは本製品の電源がオンのときでも挿入できますが、アクセスランプ（オレンジ）が点灯しているときは、挿入しないでください。アクセスランプが点灯しているときにメモリカードを挿入したり取り出したりすると、保存されているデータが壊れたり、使用できなくなるおそれがあります。
- デジタルカメラなどの対応機器で使用しているメモリカードは、必ずその機器で初期化（フォーマット）してください。パソコン側でフォーマットしたメモリカードを使用した場合、データが破損することがあります。詳しくは、お使いの対応機器の取扱説明書を参照してください。
- メモリカード表面にシールなどを貼らないでください。カードが取り出せなくなったり、シールがはがれて故障の原因となる可能性があります。

ご利用のメモリカードによっては、メモリカードを通して伝わる静電気により、本製品が誤動作することがあります。

## メモリカードのデータを取り込む

メモリカードにあるデータを、ビューワの「バックアップデータ 」フォルダに取り込む作業を、「バックアップ」と呼びます。

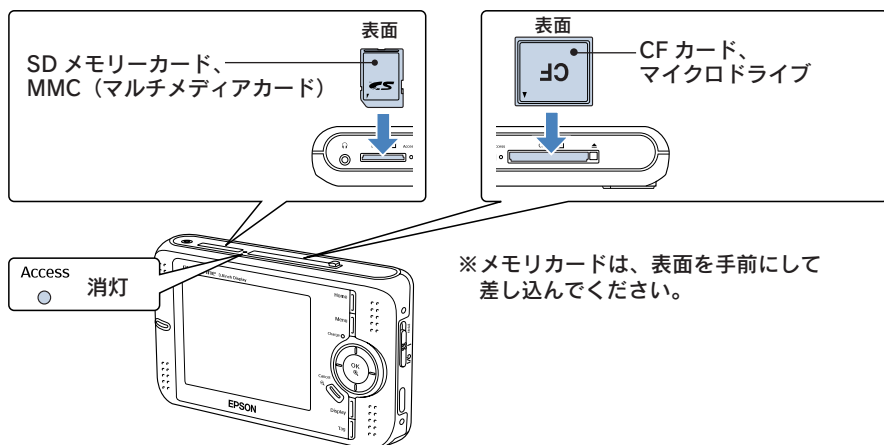
バックアップの方法は、
①メモリカード内のすべてのデータを取り込む「全バックアップ」と、
②メモリカード内の必要なデータだけを選んで取り込む「部分バックアップ」があります。

バックアップをするごとに、「バックアップデータ 」フォルダに「日付＋連番」名でフォルダが作られます。取り込まれたデータは、そのフォルダに保存されます。

参考

- 全バックアップは、メモリカード内のフォルダ構成を保持したまま、非対応データを含むすべてのデータを取り込むことができます。（ただし、フォルダ構成はビューワ上では見ることができません。）
- 部分バックアップは、本製品で扱うことができるデータのみを取り込むことができます。メモリカード内のフォルダや非対応データは取り込めません。
- メモリカードのデータを、「フォト 」や「ビデオ 」フォルダにコピーすることもできます。（☞ 本書 76 ページ「データをコピー／移動する」）

### 1 メモリカードを挿入します。

アクセスランプ（オレンジ）が点灯していないことを確認してから、メモリカードを挿入してください。
各メモリカード専用のカードスロットへ、向きに注意して奥まで押し込みます。

メモリカードを挿入すると、自動的に 2 の画面が表示されます。

参考

- CF カードスロットと SD メモリーカードスロットは、同時に使用できます。
- メモリカードが挿入されると、画面右上にアイコンが表示されます。（画像表示画面やサムネイル小画面など表示されない画面もあります。）

SD メモリーカードが挿入されています

ライトプロテクトされた SD メモリーカードが挿入されています

CF カード／マイクロドライブが挿入されています

挿入中のメモリカードから
データを取り込むときは

挿入中のメモリカードからデータを取り込むときは、ホーム画面で「メモリカード [ ]」を選び、【OK】を押します。

## 2 目的の項目を選び、【OK】を押します。

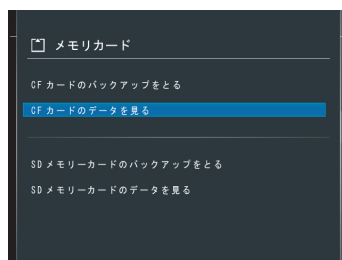
全バックアップをする場合は、次の項目を選びます。

CF カードのバックアップをとる —  7 へ

SD メモリーカードのバックアップをとる — 7 へ

部分バックアップをする場合や、データを確認してからバックアップする場合は、次の項目を選びます。

CF カードのデータを見る — 3 へ

SD メモリーカードのデータを見る — 3 へ

## 3 メモリカードのデータが表示されます。

この画面でメモリカードのデータを確認できます。
データ一覧画面の見方は、「データ一覧画面について」（☞ 本書 24 ページ）を参照してください。

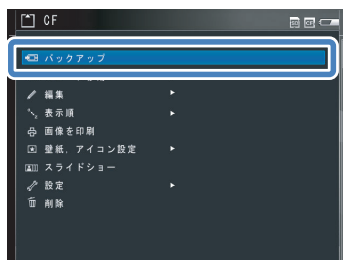
参考

メモリカード内の非対応データおよびフォルダの階層は表示されません。

## 4 【Menu】を押します。

ポップアップメニューが表示されます。

## 5 「バックアップ」を選び、【OK】を押します。

メモリカードのデータ選択画面が表示されます。

## 6 バックアップするデータを選びます。

【Menu】を押す前に選ばれていたデータには、自動的にチェックマークが付きます。

①バックアップしたいデータを選び、【OK】を押します。選択されたデータには、チェックマークが付きます。
選択を取り消す場合は、もう一度【OK】を押します。チェックマークが外れます。

②選び終わったら【Display】を押します。

### 参考

データ選択画面で【Menu】を押すと、ポップアップメニューが表示されます。一度の操作でフォルダ内のすべてのデータを選んだり、選択を取り消したりできます。目的に応じてご利用ください。

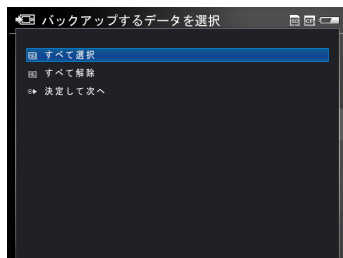
**すべて選択**

フォルダ内のすべてのデータを選択して、目的の動作を実行します。

**すべて解除**

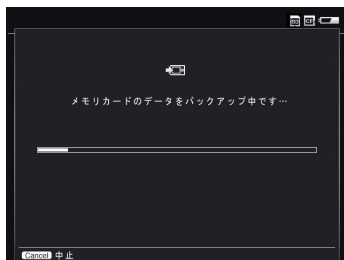
現在の選択を取り消して、データ選択画面に戻ります。

**決定して次へ**

現在の選択を決定して、目的の動作を実行します。

## 7 バックアップが始まります。

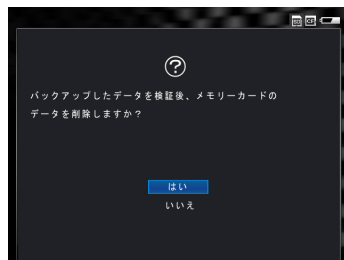
処理中画面が表示され、進行状況を確認できます。

※データ容量が大きい場合など、進行状況を示すバーが停止してしまったように見えることがありますが、そのままお待ちください。

バックアップにかかる時間は、メモリカードの性能やデータの内容により異なります。目安として、1GB で 3 分～ 10 分です。ただし、それ以上かかる場合もあります。

**!注意**

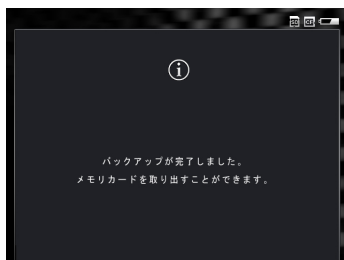
- アクセスランプが点灯している間は、メモリカードを取り出さないでください。データが破損するおそれがあります。
- AC アダプタを接続していない状態で大量のデータをバックアップすると、省電力機能が働き、画面が真っ暗になることがあります。【OK】または【Cancel】など、電源スイッチ以外のいずれかのボタンを押すと復帰します。
  このとき、メモリカードを取り出さないでください。データが破損するおそれがあります。

**参考**

- バックアップモード（☞ 本書 11 ページ「バックアップ後にメモリカードのデータを自動的に削除するには」）を「確認する」に設定してある場合は、バックアップが始まる前にデータ削除確認画面が表示されます。削除する場合は「はい」を、削除しない場合は「いいえ」を選んでください。
- 著作権保護などのため、セキュリティがかかったデータはコピーされないことがあります。

## 8 【OK】を押します。

バックアップが完了すると、右の画面が表示され、画面が切り替わります。

2 で「バックアップをとる」を選んだ場合は、バックアップされたデータの一覧画面が表示されます。

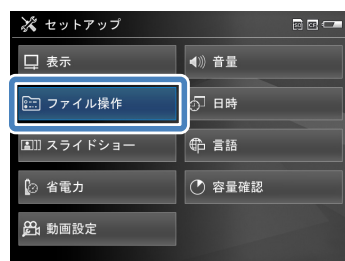
2 で「データを見る」を選んだ場合は、3 の「メモリカード」のデータ一覧画面が表示されます。

## バックアップ後にメモリカードのデータを自動的に削除するには

バックアップ後に、メモリカードのデータを自動的に削除することができます。(削除前に、本製品に正しく取り込めているかを自動的に検証してから削除します。)

### 1 ホーム画面で「セットアップ 」を選び、【OK】を押します。

設定画面が表示されます。

### 2 「ファイル操作」を選び、【OK】を押します。

ファイル操作画面が表示されます。

### 3 「バックアップ後」を選び、【→】または【OK】を押します。

サブメニューが表示されます。

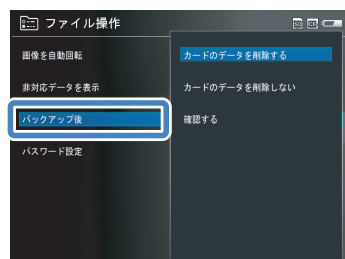
**カードのデータを削除する**

バックアップをしたメモリカードのデータは、バックアップ完了後にメモリカードから削除されます。

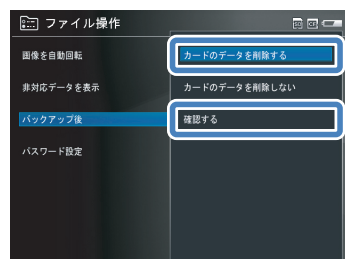
**カードのデータを削除しない**

バックアップ完了後も、メモリカード内のデータはそのまま残ります。

**確認する**

バックアップをするたびに、メモリカード内のデータを削除するかどうか、確認画面が表示されます。その都度、削除する／しないを選ぶことができます。

### 4 「カードのデータを削除する」または「確認する」を選び、【OK】を押します。

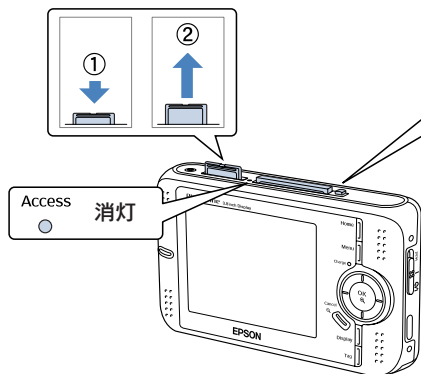
設定が有効になります。
設定を変更するまで、現在の設定が保持されます。

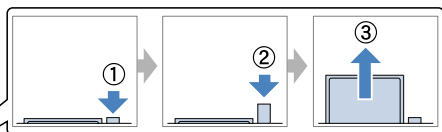
参考

- メモリカード内のデータを自動的に削除するように指定した場合、バックアップが完了すると、右の画面が表示されます。データの検証とメモリカードのデータ削除が始まります。
- データの削除を中止する場合は、【Cancel】を押し、確認画面で「はい」を選びます。
ただし、【Cancel】を押すまでに削除されたデータは元に戻せません。
- 保護されたフォルダ、ファイルは削除されません。

## メモリカードを取り出すときは

アクセスランプ（オレンジ）が点灯していないことを確認してから、メモリカードを取り出してください。

### ■ SD メモリーカードスロットの場合

①カードを押す→カードが出てきます
②カードを引き抜く

### ■ CF カードスロットの場合

①ボタンを押す→ボタンが出てきます
②もう一度ボタンを押す→カードが出てきます
③カードを引き抜く

# パソコンのデータをビューワに取り込む

本製品とパソコンを接続すると、パソコンの写真や動画、音楽データを本製品に取り込むことができます。

**参考**

- 使用できるパソコンの詳細については、「使用できるパソコン」(☞ 基本編 25 ページ)を参照してください。
- 万一に備え、パソコンからビューワにデータをコピーするときは、パソコン側にもデータを残しておいてください。

## Epson Link2 を使用して取り込む

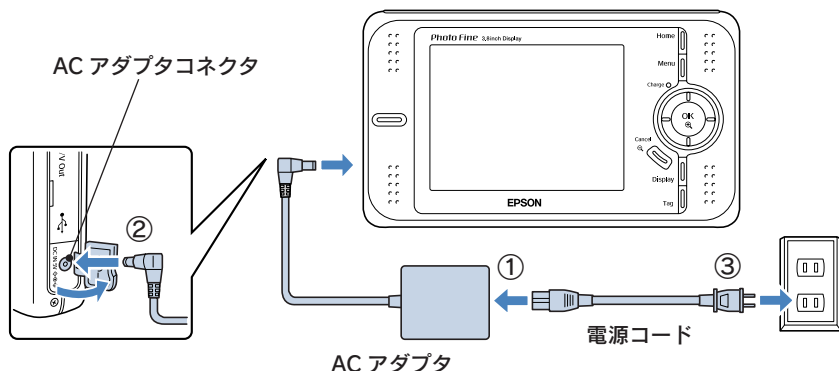
付属のソフトウェア「Epson Link2」を使用すると、データを整理しながら、簡単にデータを取り込むことができます。
Epson Link2 のインストールのしかたは、「ソフトウェアのインストール方法」(☞ 基本編 26 ページ)を参照してください。
なお、Epson Link2 の詳しい使い方については、Epson Link2 のオンラインヘルプを参照してください。

### 1 【Home】を押し、ホーム画面を表示します。

別の画面を表示してパソコン接続すると、認識されません。

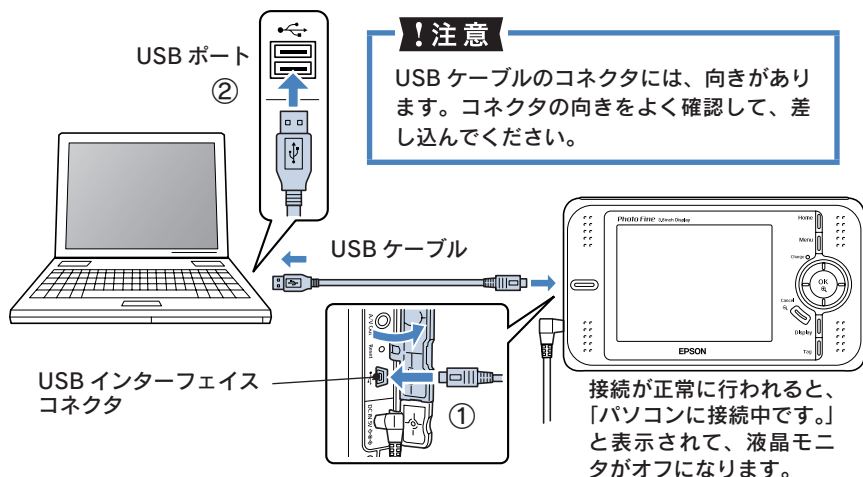
### 2 AC アダプタを接続して、電源をコンセントから取ります。

バッテリ切れによる電圧低下は、ハードディスクの破損を引き起こす原因となりますので、必ず電源をコンセントから取ってください。

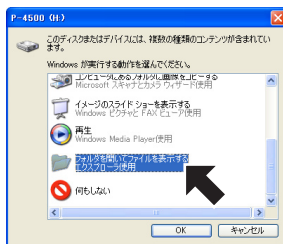
① AC アダプタと電源コードを接続します。
② AC アダプタのジャックを、ビューワの AC アダプタコネクタへ差し込みます。
③プラグをコンセントへ差し込みます。

## 3 ビューワをパソコンに接続します。

付属の USB ケーブルを使って接続します。

①USB ケーブルの小さいコネクタを、ビューワの USB インターフェイスコネクタへ差し込みます。

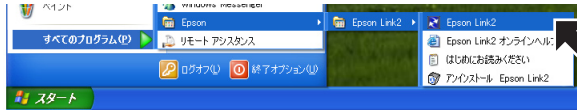
②USB ケーブルの大きいコネクタを、パソコンの USB ポートへ差し込みます。

### 参考

- パソコン接続中は、イルミネーションランプが青く点滅します。
- Windows XP の場合は、本製品を接続すると、Windows が実行する動作を選択する画面が表示されます。この場合は「フォルダを開いてファイルを表示する」を選ぶと、本製品内のデータが表示されます。

### !注意

- パソコンから本製品を取り外すときは、必ず「パソコンから取り外す」（☞ 基本編 30 ページ）の手順に従って取り外してください。
- パソコンやプリンタと接続するとき以外は、本製品から USB ケーブルを取り外してお使いください。

## 4 Epson Link2 を起動します。

**Windows の場合**

［スタート］メニュー－［すべてのプログラム］（または［プログラム］）－［EPSON］－［Epson Link2］－［Epson Link2］の順にクリックします。

オープニング画面に続いて、メイン画面が表示されます。

**Mac OS X の場合**

［アプリケーション］フォルダー［EPSON］フォルダにある［Epson Link2］アイコンをダブルクリックします。
オープニング画面に続いて、メイン画面が表示されます。

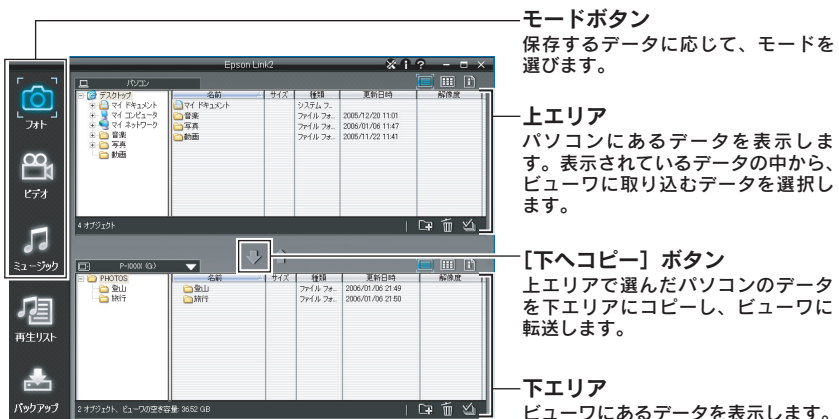
※購入時の設定では、Epson Link2 がビューワを認識すると、まだバックアップされていないデータをバックアップするかどうか、尋ねてきます。必要に応じて、バックアップしてください。（☞ 基本編 36 ページ「パソコンにデータをバックアップする」）

## 5 データを取り込みます。

①モードボタンを押して、モードを選びます。
静止画データは「フォト」、動画データは「ビデオ」、音楽データは「ミュージック」を選びます。

②取り込むデータを選びます。
「上エリア」のフォルダー覧の中から、データを保存しているフォルダを選びます。
フォルダまたはファイルのリスト表示から、取り込みたいデータを選びます。

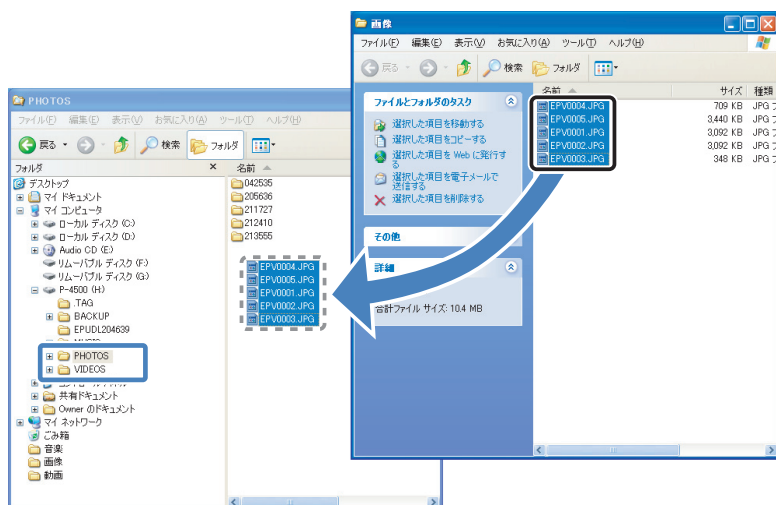
③転送先のフォルダを選択します。
下エリアのフォルダー覧から選びます。

④［下へコピー］ボタンを押して、データを転送します。

## Epson Link2 を使用せずに取り込む

### 1 ビューワをパソコンに接続します。

「Epson Link2 を使用して取り込む」（☞ 本書 13 ページ）の 1 から 3 の手順で、パソコンに接続します。

### 2 パソコンを操作して、データを取り込みます。

本製品は、外付けハードディスクとして認識されます。ビューワ内のフォルダ階層については、「ビューワのフォルダ構成」（☞ 本書 17 ページ）を参照してください。
通常のマウス操作でコピーできます。

**！注意**

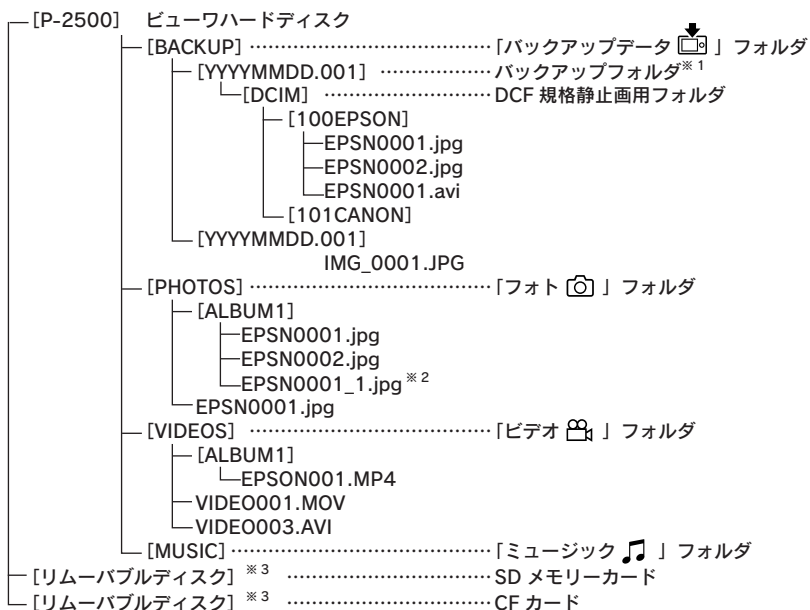
パソコンから本製品にデータを取り込むときは、以下のことを守ってください。

- データは、［PHOTOS］または［VIDEOS］フォルダへコピーしてください。
  本製品には、非対応データ（BMP 画像や文書ファイルなど）も保存することができます。（保存はできますが、再生／表示できるのは本製品に対応しているデータのみです。）
- 音楽データは、Epson Link2 を使用して［MUSIC］フォルダへコピーしてください。
  通常のマウス操作で［PHOTOS］または［VIDEOS］フォルダへもコピーできますが、「ミュージック」画面から曲を選択して再生したり、再生リストに登録したりすることはできません。
- ［BACKUP］フォルダへはコピーをしないでください。

パソコンから本製品を取り外すときは、必ず「パソコンから取り外す」（☞ 基本編 30 ページ）の手順に従って取り外してください。

パソコンからの操作でファイルの属性を「読み取り専用」にすると、本製品で保護設定した場合と同等の状態になります。

## ビューワのフォルダ構成

ビューワのフォルダ構成は以下の通りです。

※ 1: バックアップデータのフォルダ名は、「バックアップした日付＋連番」で付けられています。
※ 2: フォルダ内に同一のファイル名のデータが保存された場合、「_ 連番」が付けられています。
※ 3: Macintosh の場合は、ビューワにメモリカードがセットされている場合にそのカード名が表示されます。本製品をカードリーダーとして使用できます。（☞ 本書 89 ページ「カードリーダーとして使用する」）

**! 注意**

- 本製品のハードディスクをパソコンからフォーマットしないでください。本製品の機能に不具合が発生する可能性があります。
- 既存のフォルダ名は変更しないでください。フォルダ名を変更すると、本製品でフォルダやフォルダ内のデータを認識できなくなる可能性があります。

# パソコンにビューワのデータをバックアップする

## Epson Link2 を使用してバックアップする

ビューワの「バックアップデータ」フォルダの中にあるデータのうち、まだパソコンへバックアップされていないものを、Epson Link2 が自動的に識別します。そのデータをフォルダ単位でパソコンへ取り込みます。Epson Link2 を使用する場合、この作業を「バックアップ」と呼びます。Epson Link2 を使用すると、次の方法でバックアップできます。

＜簡単バックアップ＞　Epson Link2 がバックアップされていないデータを認識すると、自動的にバックアップを開始します。
バックアップする／しないを確認するメッセージが表示されたら「はい」をクリックして、パソコンに取り込みます。
メッセージを表示させないで常にバックアップすることもできます。

＜手動バックアップ＞　手動でバックアップモードに切り替え、［バックアップ開始］ボタンをクリックして、パソコンに取り込みます。

ここでは、＜手動バックアップ＞の方法について説明します。＜簡単バックアップ＞の方法については、「簡単バックアップ」（☞ 基本編 36 ページ）を参照してください。

なお、Epson Link2 の使い方については、詳しくは Epson Link2 のオンラインヘルプを参照してください。

**! 注意**

ハードディスクは、ぶつけたり落としたりといった過度の衝撃に弱いという性質を持っています。ハードディスクが破損した場合、弊社はデータの消失または破損については、いかなる責任も負いません。データのバックアップはお客様ご自身の責任で行っていただきますようお願いいたします。

### 1 ビューワをパソコンに接続し、Epson Link2 を起動します。

「Epson Link2 を使用して取り込む」（☞ 本書 13 ページ）の 1 から 4 の手順で、パソコンに接続し、Epson Link2 を起動します。

※バックアップしていないデータがビューワにある場合、簡単バックアップが起動して、メッセージが表示されます。簡単バックアップではなく、手動バックアップをしたい場合は、「いいえ」をクリックして簡単バックアップを中止してください。

### 2 をクリックします。

「バックアップ」画面が表示されます。

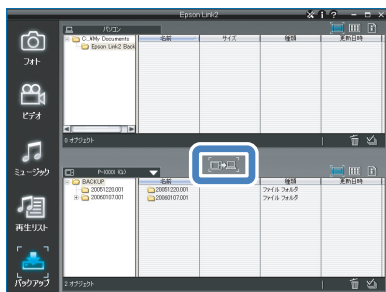
画面の上エリアには、パソコン内のフォルダやデータが表示されます。
画面の下エリアには、ビューワ内の「バックアップデータ」フォルダが表示されます。

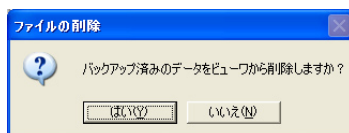
## 3 をクリックします。

ビューワの「バックアップデータ」フォルダにあるデータのうち、まだバックアップされていないデータを、フォルダ単位でパソコンへ取り込みます。

バックアップ済みのデータは取り込まれません。

転送の進行状況を示す画面が表示され、下エリア（ビューワ）のデータが上エリアにコピーされます。

バックアップが完了すると、バックアップ済みのデータをビューワから削除する／しないを確認するメッセージが表示されます。

## 4 削除する場合は［はい］を、しない場合は［いいえ］をクリックします。

以上で手動バックアップは終了です。

### 参考

- バックアップデータは「Epson Link2 Backup」フォルダに保存されます。このフォルダは、Epson Link2 のインストール時に「マイドキュメント」フォルダ内に作られます。Epson Link2 の「設定」画面で、デスクトップや任意のフォルダ内に移動することもできます。
- バックアップするデータを指定することはできません。まだバックアップされていないデータが、一括してバックアップされます。バックアップされていないデータがない場合は、＜手動バックアップ＞はできません。
- 「バックアップ済みデータの削除確認」メッセージを表示しないように設定できます。詳しくは Epson Link2 のオンラインヘルプを参照してください。
- Epson Link2 を使用しないでバックアップを行ったときなど、バックアップの履歴が残らないことがあります。この場合は、バックアップ済みのデータでも未バックアップデータと認識され、コピーされることがあります。
- Epson Link2 を使用して、「フォト」や「ビデオ」フォルダのデータもパソコンに保存できます。

### ！注意

パソコンから本製品を取り外すときは、必ず「パソコンから取り外す」（☞ 基本編 30 ページ）の手順に従って取り外してください。

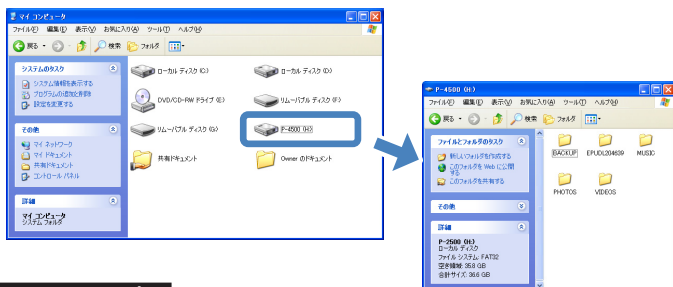
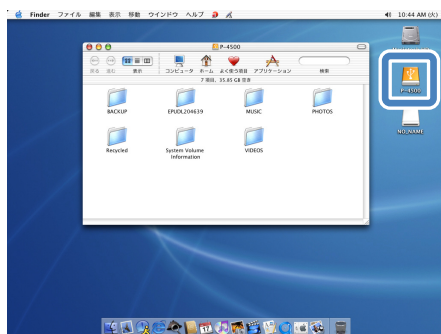
# Epson Link2 を使用せずにバックアップする

## 1 パソコンに接続します。

「Epson Link2 を使用して取り込む」（☞ 本書 13 ページ）の 1 から 3 の手順で、パソコンに接続します。

## 2 「P-2500」をクリックしてウィンドウを開き、バックアップしたいデータが保存されているフォルダをクリックします。

本製品は、外付けハードディスクとして認識されます。
ビューワ内のフォルダ階層については、「ビューワのフォルダ構成」（☞ 本書 17 ページ）を参照してください。

**Windows の場合**

**Macintosh の場合**

## 3 パソコンに保存したいデータを選んで、パソコンの保存先にドラッグします。

ビューワからパソコンへのバックアップが始まります。

**！注意**

パソコンから本製品を取り外すときは、必ず「パソコンから取り外す」（☞ 基本編 30 ページ）の手順に従って取り外してください。

# 表示できる静止画データ

本製品で表示できる静止画データについて説明します。

## 表示できる静止画データ

以下の形式の静止画データを表示できます。

| データ形式 | 拡張子 | 詳細 |
| --- | --- | --- |
| JPEG<br>(Exif) | jpg、<br>jpeg、jpe | デジタルカメラで使われる標準画像形式<br>・Exif Version1.0 / 2.0 / 2.1 / 2.2 / 2.21 準拠<br>・DCF1.0 / 2.0 準拠 |
| RAW | erf | エプソン製デジタルカメラの RAW データ |
| | crw、cr2 | キヤノン製デジタルカメラの RAW データ |
| | nef | ニコン製デジタルカメラの RAW データ |
| | mrw | コニカミノルタ製デジタルカメラの RAW データ |
| | pef | ペンタックス製デジタルカメラの RAW データ |
| | orf | オリンパス製デジタルカメラの RAW データ |
| | dng ※1 | アドビシステムズが推奨する RAW データ形式 |

※ 1: DNG フォーマットは、Adobe DNG Converter または Camera Raw を使用し、JPEG プレビューを含む形式で変換された DNG ファイルをサポートしています。JPEG プレビューが含まれていない DNG ファイルや、カメラ内で作成された DNG ファイルは、画像が表示できない場合があります。

**！注意**

本製品では上記の形式以外の静止画データは表示できません。
(Exif 情報をもたない JPEG ／ TIFF ／上記以外の RAW ／プログレッシブ JPEG ／ BMP ／ GIF ／ PICT ／ PNG などは表示できません。)

## RAW データの表示について

本製品は、以下のデジタルカメラ※1 で撮影した RAW データのサムネイル／スクリーンネイル※2 を表示することができます。

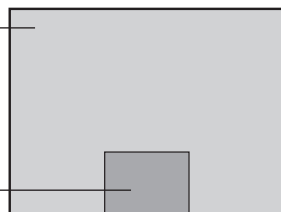
| メーカー | 機種 |
|---|---|
| エプソン | R-D1 ／ R-D1s |
| ニコン | D1H ／ D2H ／ D2Hs ／ D1X ／ D2X ／ D50 ／ D70 ／ D70s ／ D100 ／ D200 |
| キヤノン | EOS: D30 ／ D60 ／ 5D ／ 10D ／ 20D ／ 30D ／ Kiss Digital ／ Kiss Digital N ／ 1D Mark II ／ 1D Mark II N ／ 1Ds Mark II |
| コニカミノルタ | α -7 DIGITAL ／α Sweet DIGITAL |
| ペンタックス | ＊ ist D ／＊ ist Ds ／＊ ist DL ／＊ ist Ds2 ／＊ ist DL2 |
| オリンパス | E-1 ／ E-300 ／ E-330 ／ E-500 |

※ 1: 対応デジタルカメラの最新情報については、エプソンのホームページ（http://www.epson.jp）でご確認ください。

※ 2: RAW フォーマットで撮影された画像を簡易的に表示するもので、RAW データそのものを表示するものではありません。

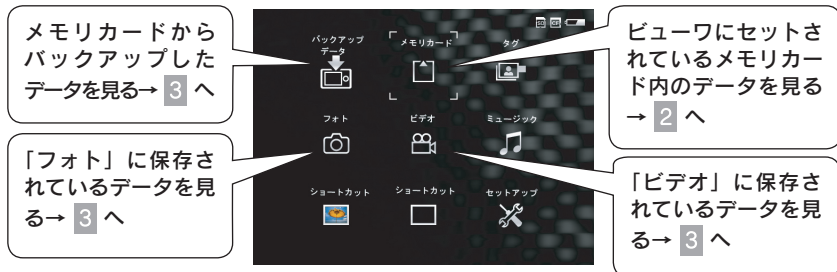
なお、RAW データは簡易表示となるため、印刷機能には対応していません。

## 表示できる静止画データのサイズ

本製品では以下のサイズの静止画データを表示できます。

# 画像を表示する

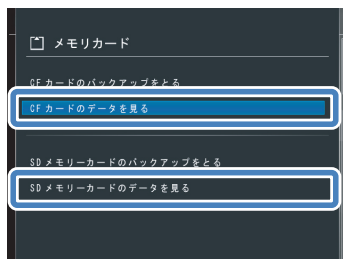
ホーム画面から、ビューワに保存されている画像、アルバム（☞ 本書 79 ページ「アルバムを作成する」）に登録されている画像、メモリカードに保存されている画像などを見ることができます。

## 1 目的の静止画が保存されているフォルダアイコンを選び、【OK】を押します。

**参考**

- ホームー画面には、フォルダまたはアルバムへのショートカットを 2 つ登録できます。「ショートカット」を選ぶと、登録したフォルダまたはアルバムのデータ一覧画面を表示できます。（☞ 本書 26 ページ「ショートカットを登録する」）
- その他のアイコンは、次のときに選びます。
  「タグ」　：タグ（付箋）機能で作られたアルバムを見るとき（☞ 本書 79 ページ「アルバムを作成する」）
  「ミュージック」：「ミュージック」に保存した音楽データを聞くとき（☞ 本書 45 ページ「音楽を再生する」）
  「セットアップ」：本製品の各種設定を行うとき（☞ 本書 98 ページ「設定一覧」）

## 2 「メモリカード 〔アイコン〕」を選んだ場合は、挿入している「CF カードのデータを見る」または「SD メモリーカードのデータを見る」を選び、【OK】を押します。

データ一覧画面が表示されます。── 4 へ

メモリカードが挿入されていないときは、右の画面は表示されず、ホーム画面のままエラー音が鳴ります。

## 3 目的の静止画が保存されているフォルダを選び、【OK】を押します。

フォルダは日付順に表示されます。

目的の静止画がサブフォルダに保存されている場合は、サブフォルダを選び、【OK】を押します。

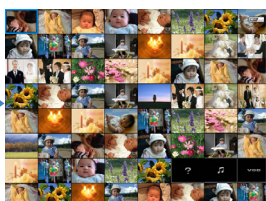
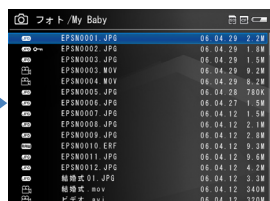
## 4 目的の静止画を選び、【OK】を押します。

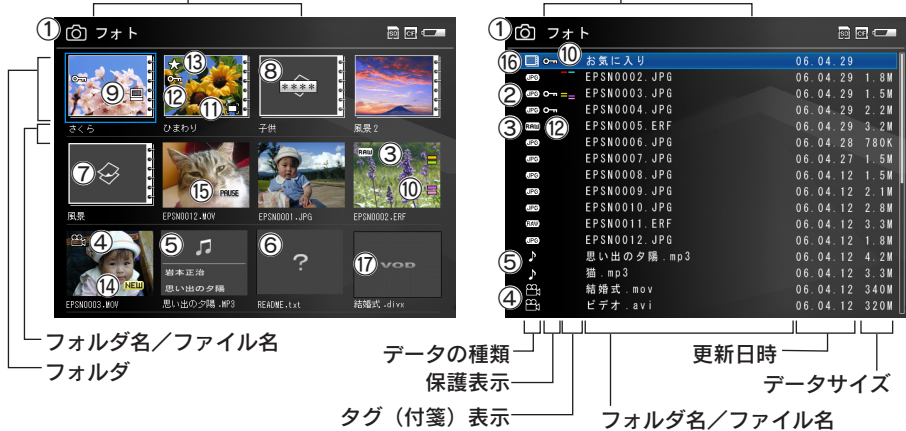
データは、日付順に表示されます。
【↑↓←→】を長押しすると、高速スクロールで見ることができます。

画面の大きさに合わせて、画像全体が表示されます。
全体表示中は、【←】を押すと 1 つ前の画像に、【→】を押すと次の画像に、表示を切り替えることができます。

## データ一覧画面について

データ一覧画面で【Display】を押すと、表示のしかたを変更することができます。ボタンを押すごとに、サムネイル大→サムネイル小→リスト表示→サムネイル大…と、表示が切り替わります。

サムネイル小

リスト表示

画面に表示される情報やマークは以下の内容を示しています。

①タイトルアイコン
ホーム画面で選んだフォルダアイコン

② JPG ：JPEG 画像データ
（リスト表示画面のみ表示）

③ RAW ：RAW 画像データ

④ ：動画データ

⑤ ♫、♪ ：音楽データ

⑥ ? ：非対応データ
本製品で表示／再生できないデータ
（表示／非表示を設定できます。（☞ 本書 101 ページ））

⑦ ：非対応データフォルダ
本製品で表示／再生できるデータが入っていないフォルダ

⑧ **** ：プライベートフォルダ
（☞ 本書 66 ページ）

⑨ ：パソコンにコピー済みデータ
（バックアップデータ一覧画面のみ表示、パソコンへ未コピーのデータでも、その他の画面では表示されません。）

⑩ ：タグ（付箋）（☞ 本書 79 ページ）

⑪ ：スクリーンセーバーに指定されているデータ
（☞ 本書 86 ページ）

⑫ ：保護の設定がされているデータ
（☞ 本書 63 ページ）

⑬ ★ ：ショートカットに登録されているデータ
（☞ 本書 26 ページ）

⑭ NEW ：未再生の動画

⑮ PAUSE ：再生途中で停止した動画

⑯ ：「フォト」、「ビデオ」フォルダ内のフォルダ
（フォルダによってアイコンの形は異なります。）

⑰ VOD ：著作権保護のかかった DivX ファイル
（DivX VOD ファイル）

**参考**

- フォルダのアイコンは、お好みの画像に変更することができます。（☞ 本書 85 ページ「フォルダのアイコンや壁紙を設定する」）
- データ一覧の表示順は、ファイル名順に変更することができます。（☞ 本書 26 ページ「表示順を並べ替える」）

## 表示順を並べ替える

データ一覧画面の表示順を変更できます。

### 1 データ一覧画面表示中に、【Menu】を押します。

ポップアップメニューが表示されます。

### 2 【表示順】を選び、【→】または【OK】を押します。

サブメニューが表示されます。

### 3 表示順を選び、【OK】を押します。

**日付で昇順表示**

日付の古い順に表示されます。

**日付で降順表示**

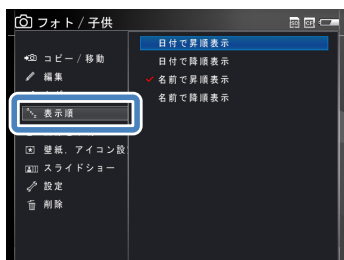
日付の新しい順に表示されます。

**名前で昇順表示**

数字（小→大）、英字（A → Z）、ひらがな／カタカナ／漢字（あ→ん）の順で表示されます。

**名前で降順表示**

ひらがな／カタカナ／漢字（ん→あ）、英字（Z → A）、数字（大→小）の順で表示されます。

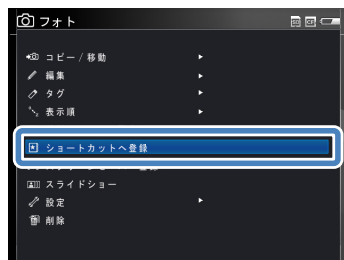
選択した並び順で、データ一覧画面が表示されます。
※「バックアップデータ」フォルダは、日付順（昇順）のみになります。

## ショートカットを登録する

ホーム画面に、ショートカットを 2 つ登録できます。
「フォト 📷」、「ビデオ 🎥」フォルダ内のフォルダか、アルバムを登録できます。

### 1 登録したいフォルダまたはアルバムを選び、【Menu】を押します。

ポップアップメニューが表示されます。

### 2 【ショートカットへ登録】を選び、【OK】を押します。

ショートカットに登録されます。
登録されたフォルダまたはアルバムには、「★」マークが表示されます。

ホーム画面でショートカットを選んで【Menu】を押すか、登録時と同様の操作でポップアップメニューを表示し、「ショートカットから削除」を選びます。

ショートカットから削除しても、登録されていたフォルダまたはアルバムは削除されません。

# 画像を拡大する

静止画像の拡大表示のしかたを説明します。少しずつ拡大する方法と、一気に 100%（ピクセル等倍サイズ）まで拡大する方法があります。

**参考**

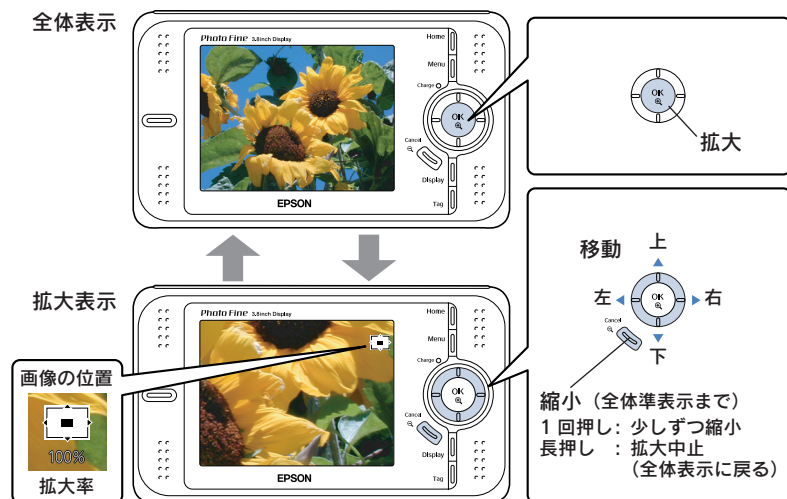
最大約 400%まで拡大できます。（RAW データはスクリーンネイルの約 100% まで拡大できます。お使いのデジタルカメラによって、拡大表示できない場合もあります。）
拡大率は、ピクセル等倍サイズを 100% とした割合で表示されます。

## 画像を拡大する

### 1 全体表示中に、【OK】を押します。

【OK】を押すたびに、拡大されます。
縮小するときは、【Cancel】を押します。長押しすると、全体表示に戻ります。

### 2 見たい部分が表示されていないときは、画像を移動します。

拡大画像の表示部を移動するときは、【←→↑↓】を押します。矢印の方向に移動します。

**参考**

- 画像が拡大表示されているときに【OK】を長押しすると、連続拡大します。（最大 400% まで）
- 全体表示中に【OK】を長押しすると、拡大位置指定枠が表示されます。（画像サイズが 640 × 480 ピクセルよりも大きい静止画のみ。）
- 次の場合は、警告音が鳴ってお知らせします。
  最大拡大表示で【OK】を押したとき。これ以上、拡大することはできません。
  画像の端で【←→↑↓】を押したとき。これ以上、押した矢印の方向へは移動できません。

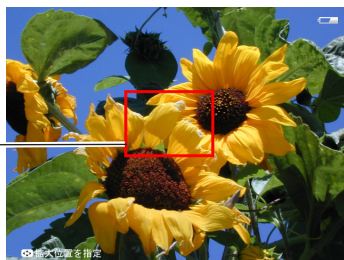
## 画像を一気に拡大する

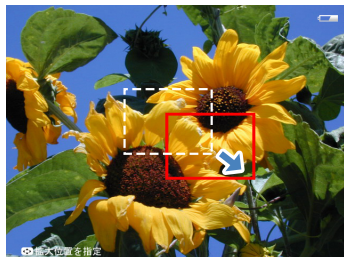
拡大表示したい部分を指定して、ピクセル等倍サイズに拡大します。

画像サイズが 640 × 480 ピクセル以下の静止画は、この機能での拡大表示はできません。

### 1 全体表示中に、【OK】を長押しします。

画面に赤色の枠が表示されます。

640 × 480 ピクセル以下の静止画を表示していた場合は、エラー音が鳴り赤色の枠は表示されません。

### 2 見たい部分を指定します。

【←→↑↓】を押すと、矢印の方向に枠が移動します。表示したい部分に合わせます。

### 3 【OK】を押します。

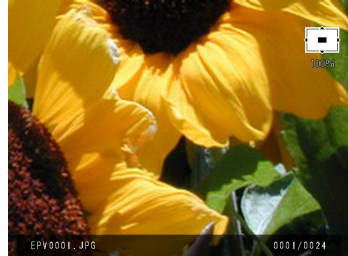
指定部分がピクセル等倍サイズで表示されます。
縮小するときは、【Cancel】を押します。長押しすると、全体表示に戻ります。

参考

拡大位置を示す枠は、画像の等倍ピクセルサイズに対する 640 × 480 ピクセルの割合の大きさで表示されます。画像によって、大きさが異なります。

## 全体の拡大率を変えずに次の画像を見る

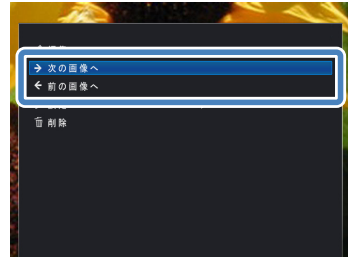
同じ拡大率・表示位置で、別の静止画を表示することができます。

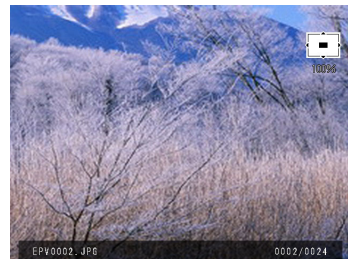
### 1 希望の拡大率、位置で静止画を表示します。

### 2 【Menu】を押します。

ポップアップメニューが表示されます。

### 3 表示する静止画を選びます。

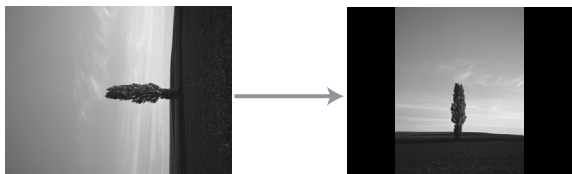
次の画像へ
次の静止画が表示されます。

前の画像へ
前の静止画が表示されます。

### 4 【OK】を押します。

同じ拡大率・表示位置で、次／前の静止画が表示されます。

**参考**

- 拡大率は等倍ピクセルサイズを 100% とした割合です。例えば、20 万画素の画像を 100% で表示していて次に 10 万画素の画像を表示した場合、100% で表示されますが、画像サイズ（面積）は小さくなります。
- 画像サイズが大きすぎるなど、前後の画像が表示できない画像の場合は、拡大表示は解除され全体表示となります。

# 画像を回転させる

静止画は、画像を 90 度回転して表示できます。また、Exif 情報に縦位置で撮影したことが記録されている場合は、「自動回転」（☞ 本書 33 ページ「画像を自動で回転させる」）を「する」に設定しておくと縦位置で撮影した画像を自動的に回転して表示できます。

**! 注意**

以下の静止画データの画像は回転できません。

- 「保護」された静止画データ（☞ 本書 63 ページ「データを保護する」）
- Exif 情報に縦位置で撮影したことが記録されている静止画データ（Exif 情報に画像の回転情報が保持されている画像）
- 「フォト」、「ビデオ」以外のフォルダにある静止画データ

**参考**

画像の回転は、画面（モニタ）上の画像表示を回転しています。データそのものは回転していません。例えば、回転させたデータをパソコンで見ると、回転前の状態で表示されます。

## 表示中の画像を回転させる

全体表示中の画像は、以下の手順で回転させます。
ポップアップメニューで「回転」を選ぶと、回転モードになります。1 つずつ画像を確認しながら、同じフォルダ内の別の画像データも回転させることができます。

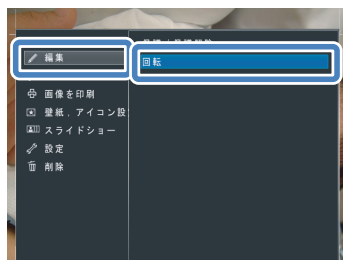
### 1 回転したい画像を全体表示にして、【Menu】を押します。

ポップアップメニューが表示されます。

### 2 「編集」を選び、【→】または【OK】を押します。

サブメニューが表示されます。

### 3 「回転」を選び、【OK】を押します。

回転モードになります。

### 4 回転方向を選び、【OK】を押します。

【OK】を押すごとに、画像が回転します。

**右回転**

右に 90 度回転します。

**左回転**

左に 90 度回転します。

**続けて別の画像を回転する場合は**

①回転させたい画像を表示します。
【←】を押すと、1 つ前の画像が表示されます。
【→】を押すと、次の画像が表示されます。

②【↑ ↓】で回転方向を選び、【OK】を押します。

### 5 回転モードを終了するときは、【Cancel】を押します。

または、「キャンセル」を選び【OK】を押します。

画像を見る

## 複数の画像を回転させる

複数の画像を一度の操作で回転させることもできます。

### 1 回転させたい静止画を含むデータ一覧画面を表示して、【Menu】を押します。

ポップアップメニューが表示されます。

### 2 「編集」を選び、【→】または【OK】を押します。

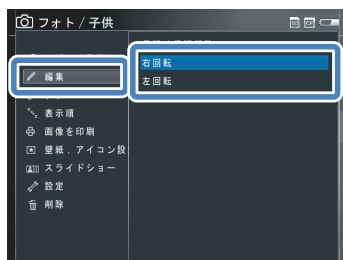
サブメニューが表示されます。

### 3 回転方向を選び、【OK】を押します。

右回転

右に 90 度回転します。

左回転

左に 90 度回転します。

データ選択画面が表示されます。

### 4 回転させたい画像を選びます。

【Menu】を押す前に選ばれていたデータには、自動的にチェックマークが付きます。

①回転させたいデータを選び、【OK】を押します。選択されたデータには、チェックマークが付きます。
選択を取り消す場合は、もう一度【OK】を押します。チェックマークが外れます。

②選び終わったら、【Display】を押します。

※「保護」された画像は選択できません。

※【Menu】を押すと、ポップアップメニューが表示されます。一度の操作でフォルダ内のすべてのデータを選んだり、解除したりできます。（☞ 本書 9 ページ）

### 5 画像が回転します。

「回転中」画面が表示されます。

処理が終わると、1 のデータ一覧画面に戻ります。

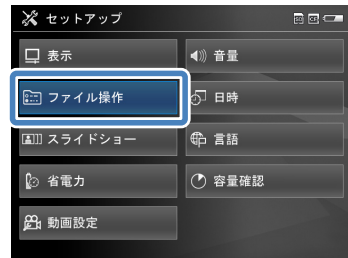
## 画像を自動で回転させる

Exif 情報で回転が設定されている静止画データは、自動的に回転させて表示することができます。

**1** ホーム画面で「セットアップ 」を選び、【OK】を押します。

セットアップ画面が表示されます。

**2** 「ファイル操作」を選び、【OK】を押します。

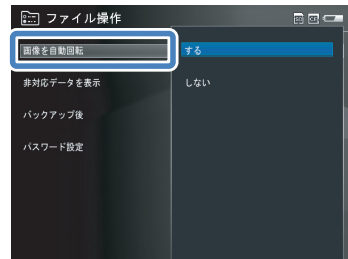
ファイル操作画面が表示されます。

**3** 「画像を自動回転」を選び、【→】または【OK】を押します。

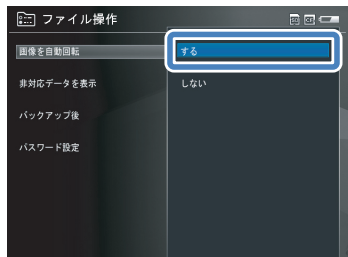
サブメニューが表示されます。

する

自動回転します。

しない

自動回転しません。

**4** 「する」を選び、【OK】を押します。

設定が有効になります。
設定を変更するまで、現在の設定が保持されます。

# スライドショーを見る

保存された静止画を、連続して自動的に表示することができます。この機能をスライドショーと呼びます。

**参考**

- スライドショーはフォルダ単位で行われます。
- アルバムもスライドショーで見ることができます。
- 動画やサブフォルダ内の画像データは表示されません。

## スライドショーを開始する

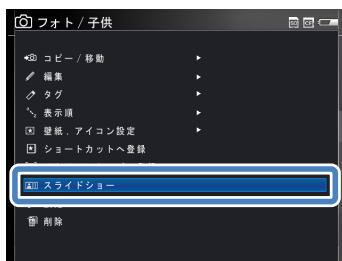
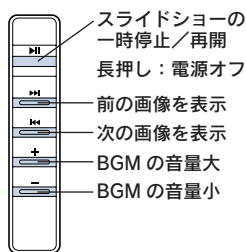
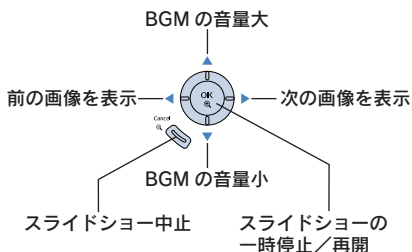
### 1 フォルダ、静止画またはアルバムを選び、【Menu】を押します。

ホーム画面のショートカットアイコンに登録されているフォルダを選ぶときは、ショートカットを選んで【Menu】を押します。

ポップアップメニューが表示されます。

### 2 「スライドショー」を選び、【OK】を押します。

スライドショーが開始します。
1 で静止画を選んだ場合は、その画像からスライドショーが開始されます。

選択したフォルダやアルバム内に静止画がない場合は、「スライドショーで表示できる画像がありません。」と表示されます。フォルダを選び直してください。

スライドショー中にできるボタン操作は、以下の通りです。リモコンでも操作ができます。

**! 注意**

長時間スライドショーを行ったときなど、本製品が高温になると自動的に電源がオフになることがあります。このときは本製品の温度が下がるまでお待ちください。

## スライドショーの効果を設定する

スライドショーの表示中に、スライドショーの画面切り替え時の効果や画面切り替えの間隔、BGM を設定することができます。この設定は、セットアップ画面（☞ 本書 102 ページ「スライドショー」）でも行えます。

### 1 スライドショー表示中に、【Menu】を押します。

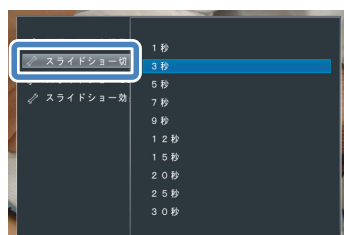
ポップアップメニューが表示されます。

### 2 設定したい項目を選び、【OK】または【→】を押します。

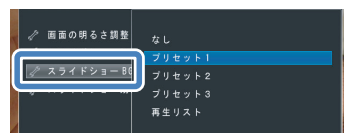
サブメニューが表示されます。

**スライドショー切り替え時間**

画面切り替えの間隔を設定します。

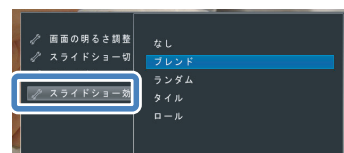
| 1 秒 | 3 秒 | 5 秒 | 7 秒 | 9 秒 |
|---|---|---|---|---|
| 12 秒 | 15 秒 | 20 秒 | 25 秒 | 30 秒 |

**スライドショー BGM**

BGM を設定します。

| なし | プリセット 1 | プリセット 2 |
|---|---|---|
| プリセット 3 | 再生リスト | |

※再生リストの設定については、「好きな音楽を BGM にしてスライドショーを楽しむ」（☞ 本書 36 ページ）を参照してください。

**スライドショー効果**

画面切り替え時の効果を設定します。

| なし | ブレンド | ランダム |
|---|---|---|
| タイル | ロール | |

### 3 お好みの設定を選び、【OK】を押します。

新しく設定した内容で、スライドショーが再開します。

時計の表示／非表示を設定することもできます。
（☞ 本書 103 ページ「時計を表示」）

## 好きな音楽を BGM にしてスライドショーを楽しむ

お好みの音楽を再生リストに登録し、スライドショーの BGM 設定でその再生リストを選択すると、お好みの音楽を BGM にしてスライドショーを楽しむことができます。この設定は、セットアップ画面（☞ 本書 102 ページ「スライドショー」）でも行えます。

### 1 再生リストを登録します。

登録のしかたは、「再生リストを作成する」（☞ 本書 52 ページ）を参照してください。

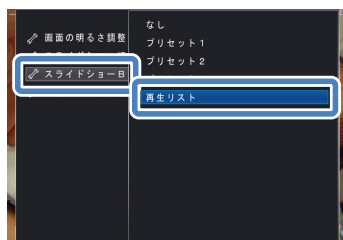
### 2 スライドショーを開始し、【Menu】を押します。

ポップアップメニューが表示されます。

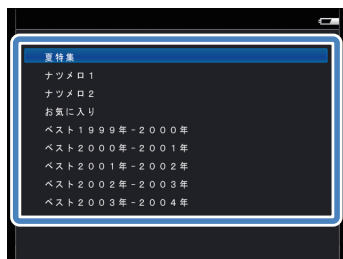
### 3 「スライドショー BGM」を選び、【OK】または【→】を押します。

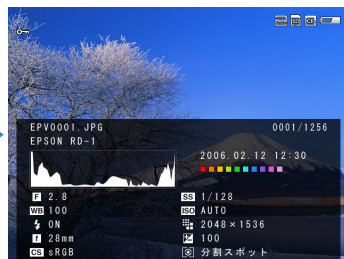
サブメニューが表示されます。

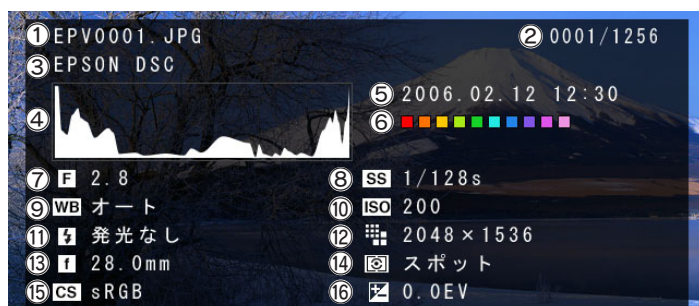
### 4 「再生リスト」を選びます。

再生リスト選択画面が表示されます。

### 5 お好みの再生リストを選び、【OK】を押します。

設定した BGM に変わり、スライドショーが再開します。

再生リストが登録されていない場合は、再生リストは表示されません。
【Cancel】を押して、スライドショー画面に戻ってください。

# 画像の情報を表示する

静止画を全体または拡大表示して【Display】を押すと、画像情報（撮影データ）を表示したり、非表示にしたりできます。【Display】を押すごとに、詳細情報表示→白飛び／黒つぶれ警告表示→情報表示なし→簡易情報表示→詳細情報表示…と切り替わります。

ヒストグラムデータに基づき、画像の白飛び部分と黒つぶれ部分を点滅してお知らせします。

詳細情報表示に表示される情報は、以下の通りです。

①ファイル名　②ファイル番号 / フォルダ内の総ファイル数
③モデル名 *　④ヒストグラム　⑤撮影日時 *
⑥設定されているタグ　⑦F 値 *　⑧シャッター速度 *
⑨ホワイトバランス *　⑩ ISO 値 *　⑪フラッシュ *　⑫解像度 *
⑬焦点距離 *　⑭測光モード *　⑮色空間　⑯露出補正 *
*: Exif 情報
上記の他、RAW データのみファイルタイプも表示されます。

Exif 情報は、お使いのデジタルカメラによって表示される項目が異なります。
また、表示している画像フォーマットによっても表示される項目は異なります。

## ヒストグラムについて

ヒストグラムは、縦軸は画素数、横軸は左からシャドー（暗い）、中間調、ハイライト（明るい）とし、画像の明暗の傾向を示したグラフです。
例えば、グラフの山が左に行くほど、シャドー部分の画素数が多い露出がアンダーの画像です。逆に、山が右に行くほど明るい露出オーバーの画像ということが分かります。
このように、液晶画面では分かりづらい細かい階調の具合を、ヒストグラムによって把握することができます。また、まわりの明るさによる液晶画面の見え方に影響されることなく、画像の明るさを判断できます。

# 再生できる動画データ

## 再生できる動画データ

本製品では以下の形式の動画データを再生できます。

| 拡張子 | 動画コーデック | 音声コーデック | 記録品質 |
|---|---|---|---|
| mov | MPEG4※1 | AAC | 720 × 480（30fps）<br>720 × 576（25fps）<br>※5 |
| | MPEG4※1 | PCM | 720 × 480（30fps）<br>720 × 576（25fps）<br>※5 |
| | MJPEG | G.711（μLaw, ALaw） | 720 × 480（30fps）<br>720 × 576（25fps）<br>320 × 240（60fps） |
| | MJPEG | PCM | 720 × 480（30fps）<br>720 × 576（25fps）<br>320 × 240（60fps） |
| | MPEG4 | ADPCM<br>（G.726, IMA ADPCM） | 720 × 480（30fps）<br>720 × 576（25fps） |
| avi | MJPEG | G.711（μLaw, ALaw） | 720 × 480（30fps）<br>720 × 576（25fps）<br>320 × 240（60fps） |
| | MJPEG | PCM | 720 × 480（30fps）<br>720 × 576（25fps）<br>320 × 240（60fps） |
| | MJPEG | ADPCM<br>（G.726, IMA -ADPCM） | 720 × 480（30fps）<br>720 × 576（25fps）<br>320 × 240（60fps） |
| avi<br>div<br>divx | DivX※2 | MPEG Audio（MPEG1 / 2<br>Layer I / II / III, MPEG 2.5<br>Layer III） | 720 × 480（30fps）<br>720 × 576（25fps）<br>※6 |
| | DivX | PCM | 720 × 480（30fps）<br>720 × 576（25fps）<br>※6 |
| asf | MPEG4※3 | ADPCM | 720 × 480（30fps）<br>720 × 576（25fps）<br>※5 |
| mp4 | MPEG4 | AAC | 720 × 480（30fps）<br>720 × 576（25fps）<br>※5 |
| mpg<br>mpe | MPEG2※4 | PCM | 720 × 480（30fps）<br>720 × 576（25fps）<br>8Mbps※7 |
| | MPEG2※4 | MPEG Audio（MPEG1 / 2<br>Layer I / II / III, MPEG 2.5<br>Layer III） | 720 × 480（30fps）<br>720 × 576（25fps）<br>8Mbps※7 |

| 拡張子 | 動画コーデック | 音声コーデック | 記録品質 |
|---|---|---|---|
| vob | MPEG2※4 | PCM | 720 × 480（30fps）<br>720 × 576（25fps）<br>8Mbps※7 |
| mod | MPEG2※4 | PCM | 720 × 480（30fps）<br>720 × 576（25fps）<br>8Mbps※7 |
| | MPEG2※4 | MPEG Audio（MPEG1 / 2 Layer I / II / III, MPEG 2.5 Layer III） | 720 × 480（30fps）<br>720 × 576（25fps）<br>8Mbps※7 |

※ 1: Advanced Simple Profile
※ 2: Home Theater Profile
※ 3: SD-Video
※ 4: プログレッシブ、インターレース両対応。MPEG1 含む。
※ 5: VBR（可変ビットレート）の動画の場合は、以下の品質に対応しています。
- 4Mbps（平均）
- 8Mbps（ピーク）

※ 6: VBR（可変ビットレート）の動画の場合は、以下の品質に対応しています。
- 4Mbps（平均）
- 16Mbps（ピーク）

※ 7: VBR（可変ビットレート）の動画の場合は、以下の品質に対応しています。
- 8Mbps（平均）
- 12Mbps（ピーク）

参考

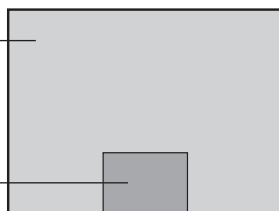
- 上記形式であっても、ファイルによっては本製品で再生できない場合があります。
- Real Video と OGM は再生できません。
- WMV は、本製品への転送時に Epson Link2 で形式を変換できます。

## 再生できる動画データのサイズ

本製品で再生できる 1 つの動画データのサイズは、最大 2GB です。

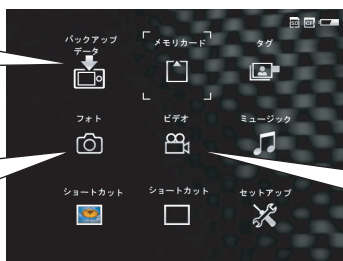
## 再生できる動画データの解像度

本製品では以下の解像度の動画データを再生できます。640 × 480 画素より小さいサイズの動画は、640 × 480 画素に拡大して再生されます。

## 動画を見る

# 動画を再生する

データ一覧画面で、🎥 が表示されている動画データを再生できます。同じフォルダ内にある動画データは、データ一覧の順に連続再生され、停止するまで繰り返し再生されます。

> **参考**
>
> サブフォルダ内の動画はスキップされます。

## 1 目的の動画が保存されているアイコンを選び、【OK】を押します。

## 2 目的の動画が保存されているフォルダを選び、【OK】を押します。

フォルダは日付順に表示されます。

目的の画像がサブフォルダに保存されている場合は、サブフォルダを選び、【OK】を押します。

## 3 再生したい動画を選び、【OK】を押します。

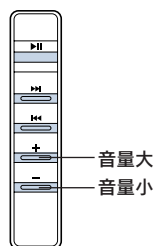
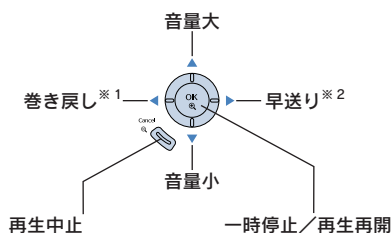
データはファイルの日付順に表示されます。【↑↓←→】を長押しすると、高速スクロール（ファイル名のみ表示）で選択することができます。

本製品に取り込まれてから、まだ一度も再生されていないデータには NEW アイコンが、再生途中で停止したデータには PAUSE アイコンが、それぞれ表示されます。

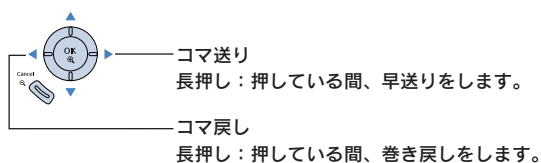
## 再生が始まります。

動画の再生を途中で中止したときは、その中止位置が記憶され、次回再生時は続きから見ることができます。ただし、総再生時間が 1 分以上の動画のみです。
総再生時間が 1 分未満の動画の場合は、必ず先頭からの再生になります。

再生中にできるボタン操作は、以下の通りです。リモコンでも音量の調節ができます。

音量大
音量小

※ 1: 巻き戻し
1 回押すごとに、4 段階で高速巻き戻しに切り替わります。(【OK】を押すと 1 倍速に戻ります。)
長押しをすると、押している間、巻き戻しをします。

※ 2: 早送り
1 回押すごとに、4 段階で高速早送りに切り替わります。(【OK】を押すと 1 倍速に戻ります。)
長押しをすると、押している間、早送りをします。

一時停止中は、【← →】はコマ送り／戻しに切り替わります。

## 動画再生中または一時停止中のポップアップメニューでできること

動画データ選択中や、動画再生中または一時停止中に【Menu】を押して表示されるポップアップメニューで、以下の設定を行うことができます。

### 再生設定

再生設定を変更できます。

●最初から再生：
再生を中断して、最初から再生します。

●オリジナルサイズで再生：
原寸の画像サイズで再生します。画面サイズ（640 × 480）より大きい画像サイズの場合は、はみだした部分は表示されません。

●フルスクリーンで再生：
画像全体が表示されるように、画像サイズを拡大／縮小して再生します。画像サイズの縦横比が 4:3 以外の動画は、画面の上と下に黒い帯が入ります。

### このシーンをサムネイルに設定

データ一覧画面に表示される動画データのサムネイルは、本製品が適当に動画から切り出した画像が採用されます。サムネイルにしたい画像を表示して、このメニューを選ぶと、表示中の画像を動画のサムネイルに設定できます。ただし、著作権保護のかかった DivX ファイル（DivX VOD ファイル）とメモリカード内の動画ファイルは設定できません。

### 動画を印刷

動画のコマを切り出して、印刷することができます。
（☞ 本書 94 ページ「動画を印刷する」）

### 設定

画面の明るさ調整（☞ 本書 100 ページ「画面の明るさ」）、操作音のオン／オフの切り替え（☞ 本書 105 ページ「操作音」）、DivX 登録コードの表示（☞ 本書 104 ページ「DivX 登録コード表示」）ができます。

### 音声言語設定

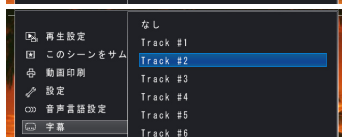
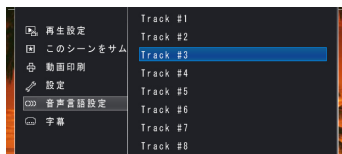
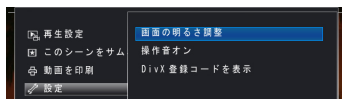
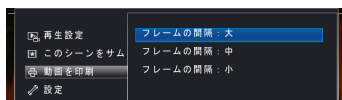
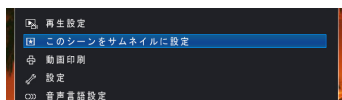
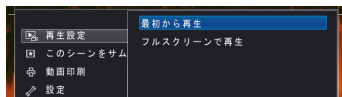
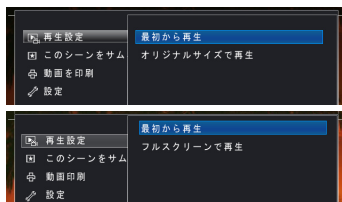
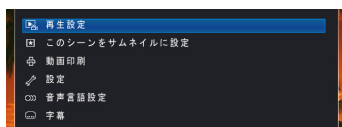
動画データ内に複数の音声言語データが入っている場合に表示されます。ご希望の音声言語を、Track 番号の中から選びます。

### 字幕

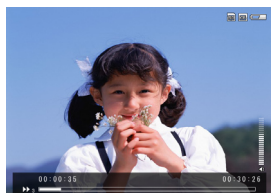
動画データ内に字幕データが入っている場合に表示されます。ご希望の字幕言語を、Track 番号の中から選びます。字幕を表示させたくない場合は、「なし」を選びます。

**参考**

- 「音声言語設定」と「字幕」の選択肢は、動画データに含まれている言語データの数により変わります。例えば、字幕が 2 言語しか入っていない場合は、Track #1 と Track #2 の 2 つだけ表示されます。
- どの Track 番号に何の言語が割り当てられているかは、動画データ側の指定によります。画面上で確認することはできません。

動画を見る

# 動画の情報を表示する

## 動画の情報を表示する

再生開始後は約 3 秒間、画面下部に動画の簡易情報が表示されます。表示が消えているときに再度表示させたいときは、【Display】を押します。
【Display】を 1 回押すごとに、簡易情報表示→詳細情報表示→情報表示なし→簡易情報表示・・・と切り替わります。

簡易情報表示　　詳細情報表示　　情報なし

表示される情報は、以下の通りです。

簡易情報表示

詳細情報表示

①ファイル名　②ファイル番号 / フォルダ内の総ファイル数
③更新日時　④ファイルサイズ　⑤解像度
⑥フレームレート　⑦ビットレート　⑧ビデオコーデック
⑨オーディオコーデック　⑩現在の再生時間　⑪再生残時間
⑫再生状態表示アイコン　▶ 再生中　❙❙ 一時停止
▶▶ スキップ中（早送り）　◀◀ スキップ中（巻き戻し）
⑬再生速度　⑭プログレスバー（全体に対しどのくらい再生されたかを示しています。）
⑮音量

# 音楽を再生する

本製品は、拡張子が「m4a」と「mp3」の音楽ファイルを再生することができます。

## 再生できる音楽データ

本製品では以下の形式の音楽データを再生できます。

| 拡張子 | 音声コーデック | 最大ビットレート |
|---|---|---|
| m4a | AAC（MPEG4） | 320kbps（48KHz、16bit、ステレオ） |
| mp3 | MP3 | 320kbps（48KHz、16bit、ステレオ） |

**！注 意**

- 本製品では上記の形式以外の音楽データは再生できません。（MPEG2 AAC ／ wav ／ cda ／ aif ／ aifc ／ aiff ／ au ／ snd ／ m4p ／ mpc ／ ogg ／ wma ／ ac3 ／ vqf ／ vql ／ ATRAC ／ ATRAC3 ／ ape などは再生できません。）
- WMA と WAV は、パソコンから本製品へのデータ転送時に、Epson Link2 で形式を変換できます。（Windows のみ）
- 著作権保護付きの音楽データは、再生できません。

## 再生できる音楽データのサイズ

本製品で再生できる 1 つの音楽のファイルサイズは、最大 100MB までです。
また、「ミュージック」に登録できる曲数は 10000 曲までです。

## 再生する音楽を選ぶ①

「ミュージック」以外に保存されている音楽データは、データ一覧画面から音楽データを選んで【OK】を押すと再生が始まります。再生が終わると、同じフォルダ内の次の音楽データを再生します。

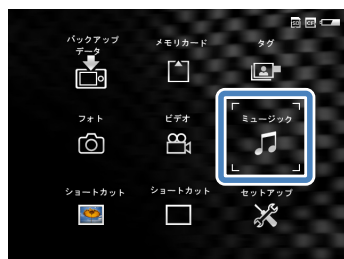
表示される情報や、音楽再生中／一時停止中にできるボタン操作は、「ミュージック」の音楽データと同じです。（☞ 本書 48 ページ）

# 再生する音楽を選ぶ②

「ミュージック」に保存されている音楽データは、アーティスト、アルバム、ジャンル、再生リスト別に音楽データを探すことができます。
ここでは、アーティスト「岩本正治」のアルバム「君とともに」の選択のしかたを例にして説明します。

## 1 ホーム画面で「ミュージック ♫ 」を選び、【OK】を押します。

「ミュージック」画面が表示されます。

※音楽データをビューワに取り込み後に音楽リストの自動更新を行わなかった場合は、ビューワの音楽リストを更新する／しないを確認するメッセージが表示されます。必要に応じて更新してください。

## 2 どの項目から曲を探すか、選びます。

項目を選ぶごとに、画面右側にその項目の一覧が表示されます。

**アーティスト**

アーティスト名から曲を探すときに選びます。「アーティスト」→「アルバム」→「曲」の順で選んでいきます。

**アルバム**

アルバム名から曲を探すときに選びます。「アルバム」→「曲」の順で選んでいきます。

**ジャンル**

ジャンル一覧が表示されます。ジャンルから曲を探すときに選びます。「ジャンル」→「アーティスト」→「アルバム」→「曲」の順で選んでいきます。

**全曲**

曲名から曲を探すときに選びます。曲名順に表示された全曲一覧から選びます。

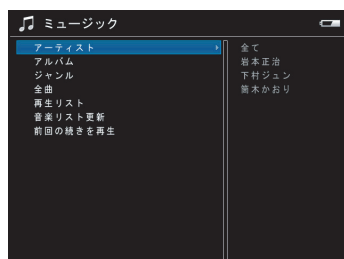
**再生リスト**

再生リストに登録した曲を再生するときに選びます。登録されていない場合は、選択肢は表示されません。
（☞ 本書 52 ページ「再生リストを作成する」）

**音楽リスト更新**

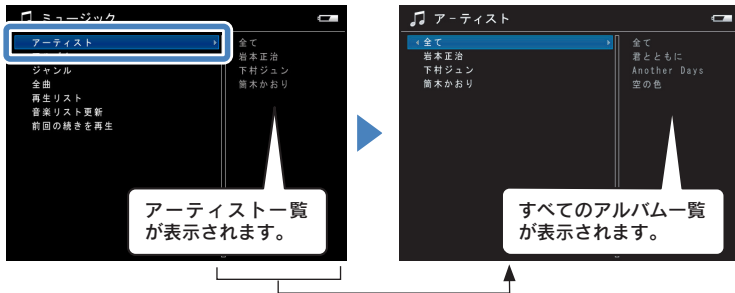
新しく音楽データを取り込んだときに選びます。「ミュージック」データベースが更新されます。

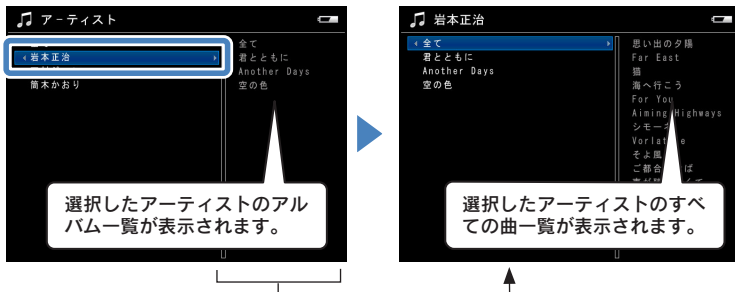
**前回の続きを再生**

前回最後に再生した曲を、最初から再生します。

**参考**

- 音楽データをビューワに取り込み後に音楽リストの自動更新をしなかった場合は、この画面で「音楽リスト更新」を選び【OK】を押して、音楽リストを更新してください。
- 音楽データ以外のデータが「ミュージック」フォルダに取り込まれると、それらのデータは「Music」フォルダ内の「TEMP」フォルダに保存されます。パソコンと接続するとフォルダ内のデータを確認できます。

## 3 「アーティスト」を選び、【→】を押します。

アーティスト一覧が画面左側に移動し、「全て」が選択されている状態になります。

## 4 聴きたいアーティストを選び、【→】を押します。

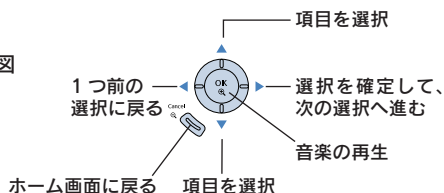
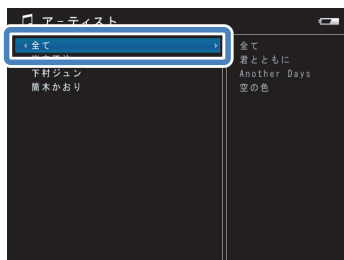
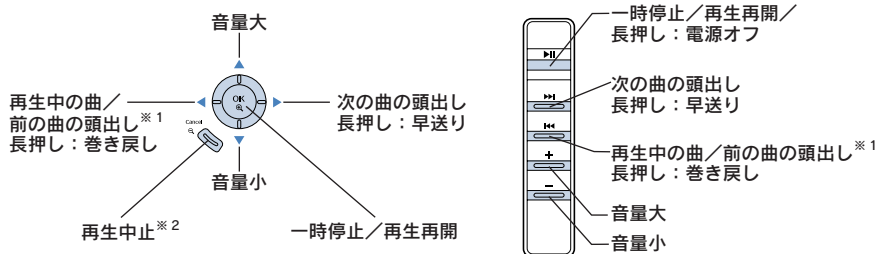
ここでは、「岩本正治」を選びます。
アルバム一覧が画面左側に移動し、「全て」が選択されている状態になります。

※ここで、アーティストを選び【OK】を押すと、そのアーティストのすべての曲が再生されます。

## 5 聴きたいアルバムを選び、【OK】を押します。

ここでは、「君とともに」を選びます。
「君とともに」の1曲目から再生が始まります。

※曲を選びたいときは、【→】を押します。曲一覧から曲を選ぶことができます。

## 曲の選択時のポイント

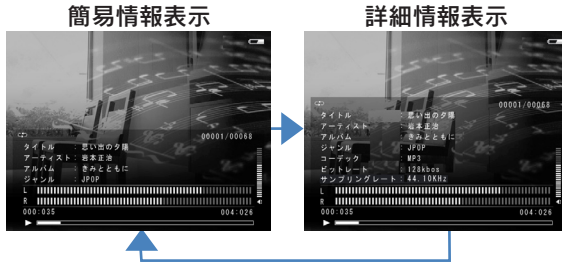
- 選択中にできるボタン操作は右の図の通りです。

- 「全て」を選んで【→】を押すと、その項目のすべての選択肢を選んで、次の選択に進みます。
- 「全て」を選んで【OK】を押すと、その項目のすべての選択肢を選択して、再生が始まります。
  ジャンルやアーティストなど、カテゴリを選んで【OK】を押すと、そのカテゴリに含まれるすべての曲を選択して、再生が始まります。
  (ただし、再生される曲数や曲順は、再生モードの設定により変わります。(☞ 本書 51 ページ「再生モードを設定する」))

音楽再生中、一時停止中にできるボタン操作は、以下の通りです。リモコンでも操作ができます。

※ 1: 頭出しは、再生中の曲の再生時間が頭から 1 秒以内の場合は前の曲の頭出し、1 秒以上の場合は再生中の曲の頭出しとなります。

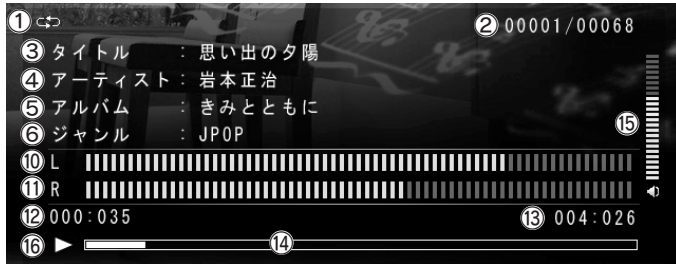
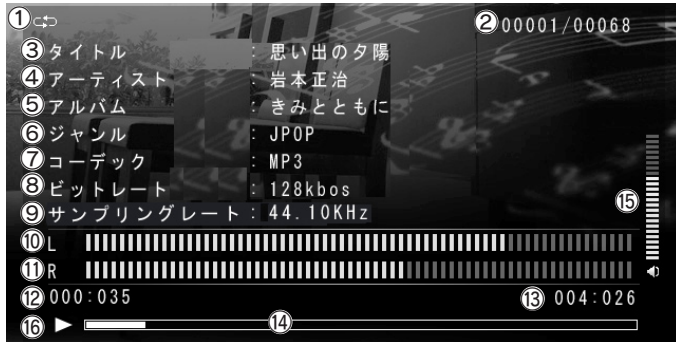
※ 2:「ミュージック」の曲を再生していた場合は、曲を再生したまま【OK】を押す前の画面（「ミュージック」画面）に戻り、曲を選び直すことができます。「ミュージック」画面から曲再生画面に戻るときは、【Display】を押します。「ミュージック」画面でもう一度【Cancel】を押すと、再生を中止してホーム画面に戻ります。
「フォト」または「ビデオ」の曲を再生していた場合は、再生を中止します。

**参考**

1 曲を繰り返し再生したり、曲順をシャッフルして再生するなど、再生モードを設定することができます。(☞ 本書 51 ページ「再生モードを設定する」)

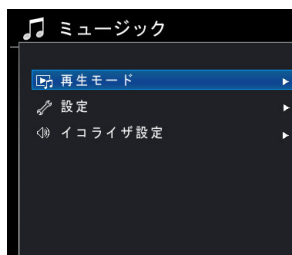
## 音楽情報表示について

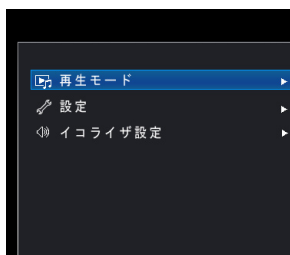
再生中は音楽情報が表示されます。【Display】を 1 回押すごとに、詳細情報表示→簡易情報表示→詳細情報表示…と切り替わります。

表示される情報は、以下の通りです。

簡易情報表示

詳細情報表示

①再生モードアイコン　②現在の曲番号 / 総曲数　③タイトル　④アーティスト名
⑤アルバム名　⑥ジャンル　⑦コーデック　⑧ビットレート
⑨サンプリングレート　⑩ステレオバランス（L）　⑪ステレオバランス（R）
⑫現在の再生時間　⑬再生残時間
⑭プログレスバー（全体に対しどのくらい再生されたかを示しています。）　⑮音量
⑯再生状態表示アイコン　▶ : 再生中　▶▶ : 早送り中　◀◀ : 巻き戻し中　❙❙ : 一時停止中
※音楽データによっては、各情報が表示されないものがあります。

# 「ミュージック」画面または曲再生中のポップアップメニューでできること

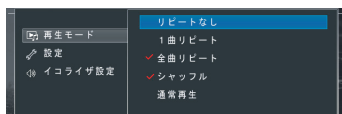
「ミュージック」画面または曲再生中に【Menu】を押して表示されるポップアップメニューで、以下の設定を行うことができます。

「ミュージック」画面

再生リスト表示中

再生中

### 再生モード

再生のしかたを設定できます。（☞ 本書 51 ページ「再生モードを設定する」）

●リピート設定：リピートなし／1 曲リピート／全曲リピート

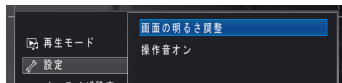
●再生順設定：シャッフル／通常再生

### 再生リストに登録

再生リストを作成できます。（☞ 本書 57 ページ「再生リストを編集する」）

### 曲順を変更

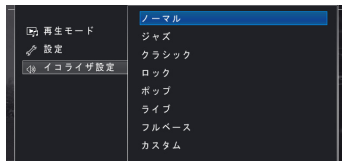
トラック順を変更できます。（☞ 本書 58 ページ「曲順を変更する」）

### 設定

画面の明るさ調整（☞ 本書 100 ページ「画面の明るさ」）、操作音の ON ／ OFF の切り替え（☞ 本書 105 ページ「操作音」）ができます。

### イコライザ設定

プリセットイコライザで、音楽のジャンルに合ったサウンドに調整できます。また、ユーザー設定も可能です。（☞ 本書 61 ページ「サウンドを調整する」）

●プリセット：ノーマル／ジャズ／クラシック／ロック／ポップ／ライブ／フルベース

●カスタム

### 削除

音楽データを削除したり、再生リストの曲の登録を解除したりすることができます。（☞ 本書 59 ページ「音楽データや再生リストを削除する」）

### この再生リストを削除

選択中の再生リストを削除します。（☞ 本書 60 ページ「再生リストを削除する」）

### 音楽再生画面へ戻る

ポップアップメニューを表示する前の画面に戻ります。

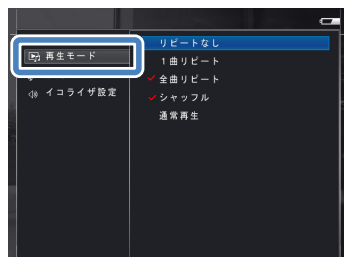
## 再生モードを設定する

再生のしかたを変更できます。

### 1 「ミュージック」画面または曲再生／一時停止中に、【Menu】を押します。

ポップアップメニューが表示されます。

### 2 「再生モード」を選び、【→】または【OK】を押します。

サブメニューが表示されます。現在の設定されている項目に、チェックマークが付いています。

●リピート設定

**リピートなし**

選択したカテゴリの曲をすべて再生して終了します。

**1曲リピート**

選択した曲を繰り返し再生します。
アルバムなどカテゴリを選択した場合は、1曲目の曲を繰り返し再生します。

**全曲リピート**

再生順設定（シャッフル、通常再生）の曲順で、選択したカテゴリの曲をすべて繰り返し再生します。

●再生順設定

**シャッフル**

曲順をシャッフルして再生します。

**通常再生**

トラック順（画面に表示されている順）に再生します。

### 3 お好みの設定を選びます。

リピート設定を、リピートなし／1曲リピート／全曲リピートから選びます。
再生順設定を、シャッフル／通常再生から選びます。

### 4 【OK】を押します。

ポップアップメニューを表示する前の画面に戻ります。

※1回の操作では､リピート設定と再生順設定の両方を設定できません。必要に応じて、1 から 4 を繰り返して設定します。

新しく設定した内容で、再生されます。
現在の再生モードの設定を、再生画面で確認できます。

●リピート設定

（表示なし）：リピートなし
（1曲リピートアイコン）：1曲リピート
（全曲リピートアイコン）：全曲リピート

●再生順設定

（シャッフルアイコン）：シャッフル
（表示なし）：通常再生

音楽を聞く

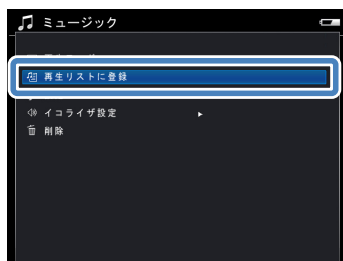
# 再生リストを作成する

お好みの曲をお好みの再生順で登録し、再生リストを作成できます。再生リストは、後から曲を追加したり削除したり、編集することもできます。

## 1 「ミュージック」画面で【Menu】を押します。

最初の「ミュージック」画面で「アーティスト」、「アルバム」、「ジャンル」「全曲」のいずれかを選択中か、いずれかを選んでそれ以降に表示される画面で押します。
再生リストの曲選択画面でも作成できますが、選択できる曲は表示中の再生リストの曲に限定されます。

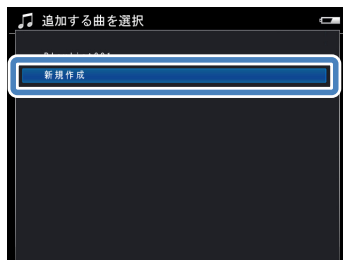
ポップアップメニューが表示されます。

## 2 「再生リストに登録」を選び、【OK】を押します。

## 3 「新規作成」を選び、【OK】を押します。

**新規作成**

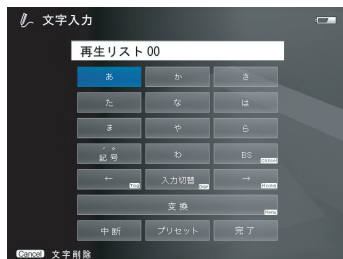
新しく再生リストを作成します。

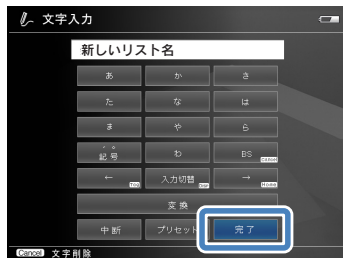
**(既存の再生リストタイトル)**

既存の再生リストを編集します。(☞ 本書 57 ページ「再生リストを編集する」)
再生リストが登録されていない場合は、表示されません。

文字入力画面が表示されます。

## 4 タイトルを入力します。

再生リストのタイトルは、自動的に「再生リスト xx」(xx は 00 からの通し番号)が付けられます。文字を入力して、お好みのタイトルに変更します。

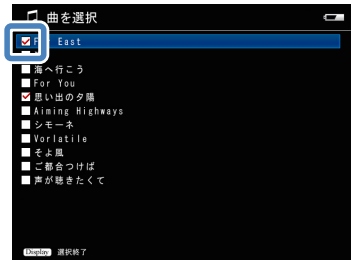
入力のしかたは、「ソフトキーボードを使った入力のしかた」(☞ 本書 53 ページ)を参照してください。

## 5 入力が終了したら、[完了]キーを選び【OK】を押します。

「ミュージック」画面が表示されます。

## 6 登録する曲を選びます。

①「再生する音楽を選ぶ②」（☞ 本書 46 ページ）と同様にして、再生リストに登録したい曲を表示させます。

②登録したい曲を選び、【OK】を押します。
選択された曲には、チェックマークが付きます。
選択を取り消す場合は、もう一度【OK】を押します。チェックマークが外れます。

※【Menu】を押すと、ポップアップメニューが表示され、一度の操作でリスト内のすべてのデータを選んだり、解除したりできます。

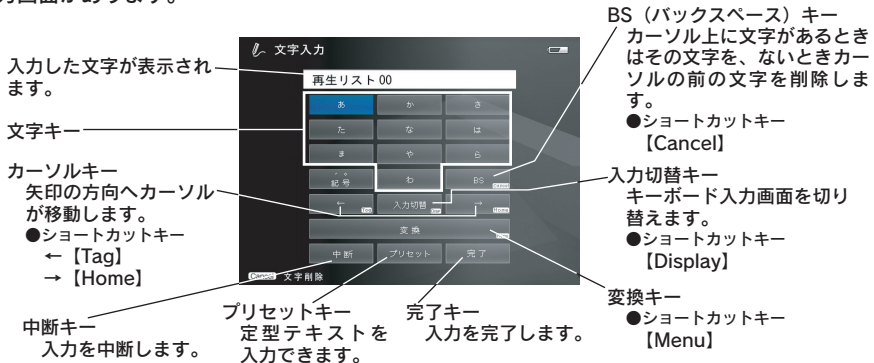
③選び終わったら、【Display】を押します。

## 7 再生リストが作成されます。

処理中画面が表示された後、「ミュージック」画面に戻ります。

**参考**

再生リストは、付属のソフトウェア「Epson Link2」を使用しても作成できます。詳しくは、Epson Link2 のオンラインヘルプを参照してください。

# ソフトキーボードを使った入力のしかた

再生リストのタイトルを付けるときやフォルダ名を変更するときは、ソフトキーボードを使って入力します。ソフトキーボードには、かな漢字入力、英数文字入力、数字入力の 3 つの入力画面があります。

ソフトキーボードは、各キーを選んで【OK】を押して操作します。ショートカットキーが割り当てられているキーは、そのボタンで同様の操作ができます。

音楽を聞く

## 1 現在の文字列を削除します。

必要に応じて、自動的に付けられたタイトルや変更前のタイトルを削除します。

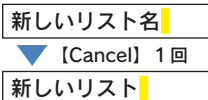
**文字の削除**

カーソル上に文字があるときはその文字を、ないときはカーソルの前の文字を、【Cancel】を１回押すごとに、１文字ずつ取り消します。

文字列の途中の文字を削除したいときは、【Tag】または【Home】を押して、削除したい文字にカーソルを合わせます。
ボタンを１回押すごとに、右または左へカーソルが１文字ずつ移動します。

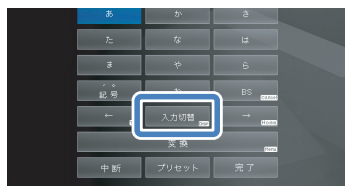
例：１文字削除（「名」を削除する）

新しいリスト名
▼【Cancel】１回
新しいリスト

例：「新しいリスト名」を「新リスト名」に変更する

新しいリスト名
▼【Tag】５回
新しいリスト名
▼【Cancel】２回
新リスト名

※文字が入力されていない状態で【Cancel】を押すと、文字入力画面が表示される前の画面に戻ります。

## 2 入力する文字のキーボード画面を表示します。

①［入力切替］キーを選びます。
②目的のキーボードが表示されるまで、【OK】を押します。押すごとに、英数文字入力→数字入力→かな漢字入力→英数文字入力…とキーボードが切り替わります。
※【Display】を押しても切り替わります。

## 3 文字を入力します。

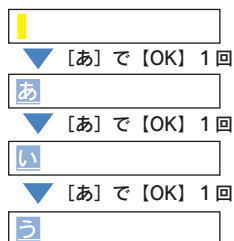
**かな漢字入力**

文字キーには、キーに表示されている文字行の文字が割り当てられています。例えば、［あ］キーにはあ行の文字「あいうえお」が割り当てられています。

［記号］キー、［プリセット］キーに割り当てられている文字は、「キー文字割り当て一覧」（☞ 本書 56 ページ）を参照してください。

①入力したい文字行のキーを選びます。
②目的の文字が表示されるまで、【OK】を押します。押すごとに、入力される文字が切り替わります。

例　「う」を入力する場合は、［あ］キーを選んで、【OK】を３回押します。

例：「う」を入力する

③同様にして、文字を入力します。同じキーに割り当てられている文字を続けて入力する場合は、【Home】を押し、カーソルを送ります。

間違えて入力した場合は、【Cancel】を押します。入力が取り消されます。

④変換するときは、[変換] キーを選び【OK】を押すか、【Menu】を押します。変換画面が表示されます。

⑤文字候補を選んで、【OK】を押します。

※【←→】で変換する文字数を変更できます。目的の文字候補がないときは、変換する文字数を変更してみてください。

※【Cancel】を押すと、未変換文字は未変換のまま文字入力画面に戻ります。その文字列を修正できます。

すべての文字が変換されると、キーボード画面に戻り、変換後の文字が入力されます。

⑥英数字入力に切り替えたい場合は、[入力切替] キーを選び【OK】を押すか、【Display】を押します。

※未変換の文字がある状態でキーボードを切り替えると、未変換の文字はひらがなで入力されます。

## 英数文字／数字入力

英数文字キーには、キーに表示されている文字の大文字と小文字と数字が割り当てられています。例えば、[ABC2] キーには、「ABCabc2」が割り当てられています。

数字キーは、キーに表示されている数字が割り当てられています。

[Space] キーは、スペースを入力するときに選びます。

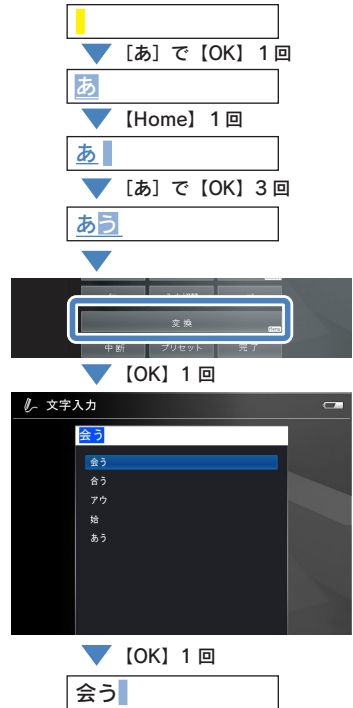
英数文字／数字入力画面では、[入力切替] キーは [Switch Input Mode]、[完了] キーは [Done] と表示されます。

[Chars] キー、[Preset] キーに割り当てられている文字は、「キー文字割り当て一覧」(☞ 本書 56 ページ) を参照してください。

かな文字と同様の方法で入力します。ただし、文字変換はありません。

例：「会う」を入力する

【OK】1 回

【OK】1 回

### 英数文字入力画面

### 数字入力画面

**入力した文字を変更したいときは**

【Tab】（←方向）または【Home】（→方向）を押し、カーソルを移動します。
カーソルの位置から、文字を挿入できます。
【Cancel】を押すと、カーソルの上の文字を取り消します。

**英数文字キーについて**

英数文字キーは、大文字／小文字の入力に応じてキーに表示される文字と入力表示部に表示される文字順が変わります。
キーに小文字で表示されているときは「小文字→大文字→数字（例 ABCabc2）」の順に、大文字で表示されているときは「大文字→小文字→数字（例 abcABC2）」の順に表示されます。

例：「bacation」の「b」を「v」に変更する

Summer bacation

▼【Tab】8 回

Summer bacation

▼【Cancel】 1 回

Summer acation

▼［TUV8］で【OK】6 回
または
［tuv8］で【OK】3 回

Summer vacation

**参考**

文字の入力を中止して、文字入力画面が表示される前の画面に戻りたいときは、［中断］または［Cancel］キーを選び、【OK】を押します。確認画面で「はい」を選び、【OK】を押します。

## 4 入力が終了したら、［完了］キーまたは［Done］キーを選んで【OK】を押します。

### ■キー文字割り当て一覧

| キー | 割り当てられている文字 |
|---|---|
| 記号 | 、。 ー 「」 () [] 【】 : ／ . ！？ |
| Chars | @%$&#=-+_)(^!;, . |
| プリセット<br>Preset | お気に入り　アルバム　家族　子供　旅行　スナップ　友人　イベント<br>クリスマス　風景　スポーツ　ビジネス　海　山　ハロウィン　撮影会 |

# 再生リストを編集する

作成した再生リストは、曲を追加したり曲順を変更するなど、編集することができます。

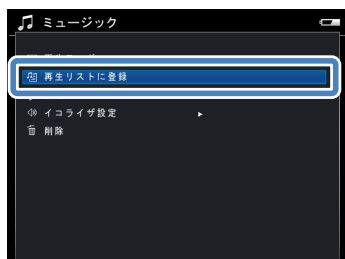
**参考**

- 再生リストは、付属のソフトウェア「Epson Link2」を使用しても編集できます。詳しくは、Epson Link2 のオンラインヘルプをご覧ください。
- 再生リストの削除のしかたは「再生リストを削除する」（☞ 本書 60 ページ）を参照してください。

## 曲を追加する

### 1 再生リストに追加したい曲一覧画面を表示して、【Menu】を押します。

ポップアップメニューが表示されます。

### 2 「再生リストに登録」を選び、【OK】を押します。

### 3 編集する再生リストを選び、【OK】を押します。

**新規作成**

新しく再生リストを作成します。（☞ 本書 52 ページ「再生リストを作成する」）

**（既存の再生リストタイトル）**

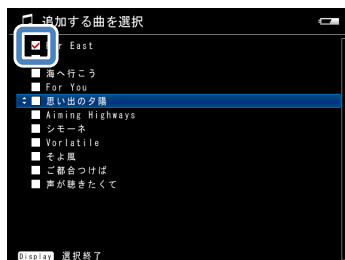
既存の再生リストを編集します。
再生リストが登録されていない場合は、表示されません。

曲選択画面が表示されます。

### 4 追加する曲を選びます。

①登録したい曲を選び、【OK】を押します。
選択された曲には、チェックマークが付きます。
選択を取り消す場合は、もう一度【OK】を押します。チェックマークが外れます。

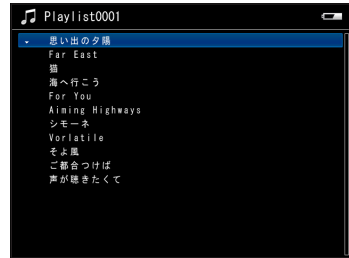
※アルバムなど、曲以外は選択できません。

※チェックを付けた順がトラック順になります。

②選び終わったら、【Display】を押します。

### 5 再生リストが書き換えられます。

処理中画面が表示された後、ポップアップメニューを表示する前の画面に戻ります。

## 曲順を変更する

### 1 再生リストの曲一覧画面で、曲順を変更する曲を選びます。

### 2 【Menu】を押します。

ポップアップメニューが表示されます。

### 3 「曲順を変更」を選び、【OK】を押します。

1 の画面に戻ります。

### 4 【↑】または【↓】を押して、曲を移動します。

【↑】を 1 回押すごとに、選択している曲の曲順が 1 つ前の曲と入れ替わります。
【↓】を 1 回押すごとに、選択している曲の曲順が次の曲と入れ替わります。

例： 1 曲目の曲を選び【↓】を 4 回押すと、5 曲目に移動します。

### 5 【OK】を押します。

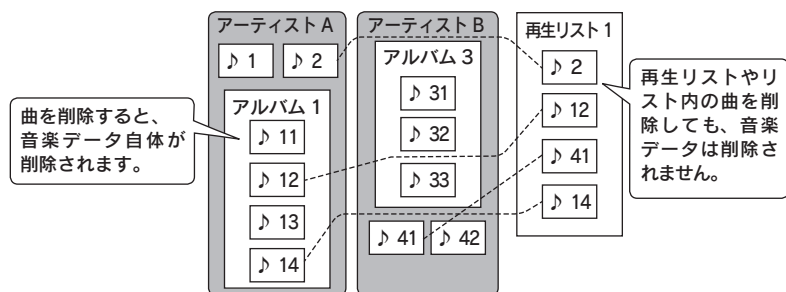
設定した曲順が確定されます。
続けて別の曲の曲順を変更する場合は、1 から 5 を繰り返して設定します。

# 音楽データや再生リストを削除する

音楽データや再生リストの削除のしかたを説明します。

参考

- 曲を選んだ場合は、その音楽データ自体が削除されます。
- 再生リストを選んだ場合は、再生リストは削除されますが、リストに登録されている音楽データは削除されません。
- 再生リストの曲を選んだ場合は、再生リストから曲は削除されますが、音楽データは削除されません。

＜音楽データイメージ＞

## 音楽データや再生リストの曲を削除する

### 1 「ミュージック」画面で【Menu】を押します。

●音楽データを削除する場合
最初の「ミュージック」画面で「アーティスト」、「アルバム」、「ジャンル」「全曲」のいずれかを選択中か、いずれかを選んでそれ以降に表示される画面で押します。

●再生リストの曲を削除する場合
削除したい曲のある再生リストの曲一覧を表示して、【Menu】を押します。

ポップアップメニューが表示されます。

### 2 「削除」を選び、【OK】を押します。

1 の画面に戻ります。

## 3 削除する曲を選びます。

音楽データを削除する場合は、①→③
再生リストの曲を削除する場合は、②→③
を行い、曲を選びます。

①「再生する音楽を選ぶ②」(☞本書 46ページ) と同様にして、削除したい曲を表示させます。

②削除したい曲を選び、【OK】を押します。
選択された曲には、チェックマークが付きます。
選択を取り消す場合は、もう一度【OK】を押します。チェックマークが外れます。

③選び終わったら、【Display】を押します。

## 4 削除を実行します。

削除確認画面が表示されますので、「はい」を選び【OK】を押します。

1 の画面に戻ります。

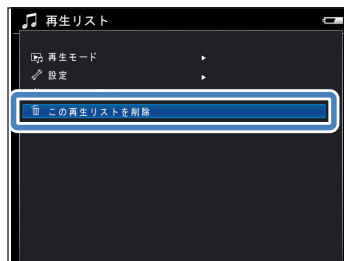
# 再生リストを削除する

## 1 「ミュージック」画面で「再生リスト」を選び、【→】を押します。

再生リスト一覧が表示されます。

## 2 削除したい「再生リスト」を選び、【Menu】を押します。

ポップアップメニューが表示されます。

## 3 「この再生リストを削除」を選び、【OK】を押します。

## 4 削除を実行します。

削除確認画面が表示されますので、「はい」を選び【OK】を押します。

1 の画面に戻ります。

# サウンドを調整する

イコライザ機能で、音質を調整できます。プリセットイコライザを使うと、各ジャンルに適した音調整が簡単にできます。ユーザー設定も可能です。
音楽再生中に設定をすると、音質を確認しながら変更できます。

## 1 再生リスト表示中、または、音楽再生中に、【Menu】を押します。

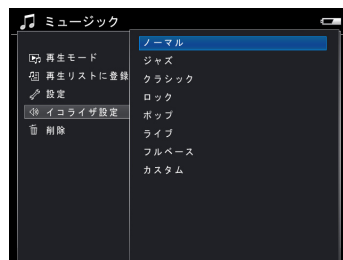
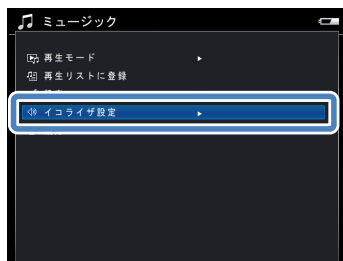
ポップアップメニューが表示されます。

## 2 「イコライザ設定」を選び、【→】または【OK】を押します。

イコライザ設定画面が表示されます。

## 3 お好みの設定を選び、【OK】を押します。

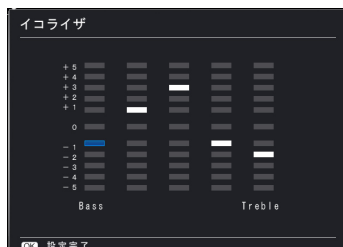
カスタム ― 4 へ

イコライザ設定画面が表示されます。
ユーザー設定を行います。音域ごとに数値を設定します。

## 4 Bass（低音）からTreble（高音）までの各音域の値を設定します。

①【← →】で変更する音域を選びます。

②【↑ ↓】でボリュームを設定します。

③①と②を繰り返して、各音域を設定します。

④設定が完了したら、【OK】を押します。

## 5 設定が有効になります。

ポップアップメニューを表示する前の画面に戻ります。

設定を変更するまで、現在のイコライザ設定の音質で再生されます。

# 音楽再生時の壁紙を変更する

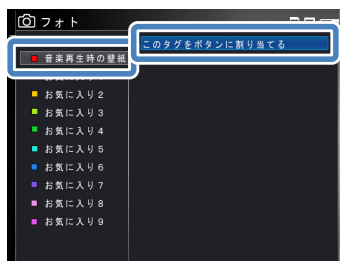
音楽再生時の壁紙は、お好みの静止画データに変更することができます。複数の静止画データを壁紙として設定すると、曲が変わるごとに画像が切り替わり表示されます。
壁紙の設定のしかたは、以下の通りです。

## 1 データ一覧画面を表示するか、全体または拡大表示中に、【Tag】を長押しします。

タグ名一覧画面が表示されます。

## 2 「音楽再生時の壁紙」を選び【→】または【OK】を押します。

## 3 「このタグをボタンに割り当てる」を選び、【OK】を押します。

【Tag】ボタンに「音楽再生時の壁紙」が割り当てられました。

## 4 壁紙にしたい静止画データを選択、または表示します。

「メモリカード」以外のフォルダ内の静止画データを選んでください。

データ一覧画面、全体表示画面、拡大表示画面のいずれの画面でもタグを付けることができます。

## 5 【Tag】を押します。

静止画データにタグが付けられます。

タグを外す場合は、もう一度【Tag】を押します。タグが消えます。

## 6 複数のデータを指定したい場合は、3、4 を繰り返します。

300 個まで静止画データを登録できます。

音楽再生時は、タグを指定した順に表示されます。

**参考**

- 音楽再生時の壁紙タグは、動画データやフォルダには付けられません。
- プライベートフォルダ内の静止画データを指定した場合は、プライベート表示時にのみ、壁紙として表示されます。
- 音楽再生時の壁紙タグを指定した画像データを、一覧で確認することができます。表示のしかたは、アルバムを表示する操作と同じです。また、この一覧画面で音楽再生時の壁紙タグをすべて外すと購入時の壁紙に戻ります。詳しくは、「アルバムを見る」（☞本書 83 ページ）を参照してください。

# 大切なデータを保護する

## データを保護する

間違って大切なデータを消したりしないように、画像データやフォルダを保護することができます。画像データのほか、「バックアップデータ 」、「フォト 」、「ビデオ 」内の音楽データ、非対応データも保護できます。ただし「ミュージック 」の音楽データは保護できません。

> **！注意**
>
> 保護設定したデータは、本製品での操作では削除できなくなります。ただし本製品をパソコンに接続し、パソコンから操作すると削除できます。また、保護設定したデータでも本製品が故障した場合は壊れる可能性があります。大切なデータは、必ず本製品以外の媒体にもバックアップするようにしてください。

### 1 保護したいデータやフォルダを表示します。

データ一覧画面、全体表示画面、拡大表示画面のいずれの画面でも設定することができます。
データ一覧画面から操作を行うと、一度に複数のデータを保護できます。
全体表示画面から操作を行うと、保護／保護解除モードになります。1 つずつ画像を確認しながら、フォルダ内の複数の画像データを連続して保護できます。

### 2 【Menu】を押します。

ポップアップメニューが表示されます。

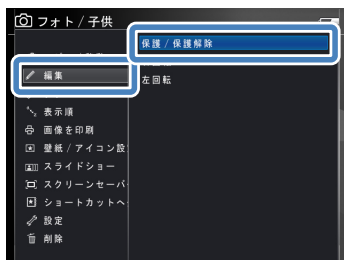
### 3 「編集」を選び、【→】または【OK】を押します。

サブメニューが表示されます。

### 4 「保護／保護解除」を選び、【OK】を押します。

データ一覧画面でポップアップメニューを表示した場合は、データ選択画面が表示されます。── 5 → 6 へ

全体表示中にポップアップメニューを表示した場合は、保護／保護解除モードになります。── 5 → 6 へ

拡大表示中にポップアップメニューを表示した場合は、表示中の画面に保護が設定され、画面の左上に マークが表示されます。

## ■一度に複数の画像に設定する

### 5 保護したいデータやフォルダを選択します。

【Menu】を押す前に選ばれていたデータには、自動的にチェックマークが付きます。

①保護したいデータを選び、【OK】を押します。選択されたデータには、チェックマークが付きます。
　選択を取り消す場合は、もう一度【OK】を押します。チェックマークが外れます。

※【Menu】を押すと、ポップアップメニューが表示され、一度の操作でフォルダ内のすべてのデータを選んだり、解除したりできます。（☞ 本書９ページ）

②選び終わったら【Display】を押します。

### 6 データやフォルダが保護されます。

処理中画面が表示された後、1 の画面に戻ります。

保護設定されたデータには、O┳ マークが表示されます。

## ■画像１つずつに設定する（保護モード）

### 5 「保護」を選び、【OK】を押します。

保護が設定され、画面の左上に O┳ マークが表示されます。

**続けて別の画像を保護するには**

①保護したい画像を表示します。
　【←】を押すと、１つ前の画像が表示されます。
　【→】を押すと、次の画像が表示されます。

②【↑ ↓】で「保護」を選び、【OK】を押します。

※「保護解除」を選び【OK】を押すと、保護は解除されます。

### 6 保護／保護解除モードを終了するときは、【Cancel】を押します。

または、「キャンセル」を選び【OK】を押します。

## 保護したときは

保護設定は電源をオフにしても保持されます。
また、保護を設定したデータは以下の動作ができなくなります。

| フォルダ | フォルダの削除<br>フォルダの移動<br>フォルダ名の変更 |
|---|---|
| データ | 削除、回転、移動 |

※ 保護されたフォルダは、削除しようとしても選択できなくなります。ただしフォルダ内のデータは保護されませんので、個別に削除することができます。ご注意ください。
※ 保護されていないフォルダを選んで削除を実行した場合は、
- フォルダ内に保護されたデータがないときは、フォルダとフォルダ内のすべてのデータが削除されます。
- フォルダ内に保護されたデータを含んでいるときは、フォルダは削除されず、その中に保護されたデータが残ります。保護されていないデータは削除されます。

## 保護を解除するときは

「データを保護する」（☞ 本書 63 ページ）と同様の操作手順で解除します。

データ一覧画面から操作を行った場合は、データ選択画面（ 4 ）でチェックを外します。
全体表示画面、拡大表示画面から操作を行った場合は、保護／保護解除モード画面（ 6 ）で「保護解除」を選び【OK】を押します。

### ■全体表示画面の各設定モードのボタン操作

全体表示画面で、削除／保護／回転／タグ設定／音楽壁紙設定の各設定モードに入ると、別の画像データに同じ設定を連続して行うことができます。
ボタン操作のしかたは、どの設定モードも同様に行います。

その他の機能

## フォルダにプライベート機能を設定する

他人に見られたくない画像データを、非表示にすることができます。画像データを含むフォルダにパスワードを設定します。画像を見たいときは､そのパスワードを入力して表示します。この機能を、プライベート機能と呼びます。

### プライベート機能を設定したときは

電源をオンにしたときは、プライベート設定されたフォルダはすべて、常に非表示となります。表示したいときは、「プライベートフォルダを表示」設定を行います。プライベート設定されたすべてのフォルダが、表示状態になります。その後は、設定を変えることにより、表示／非表示を切り替えることができます。

電源オン時

プライベートフォルダを表示

プライベートフォルダを非表示

**参考**

- プライベート機能はフォルダに設定できます。個々の画像には設定できません。
- メモリカードのデータは、プライベート機能を設定できません。
- プライベートフォルダが非表示状態のときは、アルバム表示中もプライベートフォルダ内のタグ指定された画像データは表示されません。
- プライベート設定をすると同時に保護も設定されます。これは、プライベートフォルダ非表示中に誤ってデータを削除しないためです。保護は、プライベート設定を解除しても保護を解除しない限り継続されます。

### プライベートフォルダを表示する

プライベート機能は、「プライベートフォルダを表示」のとき設定／設定解除できます。プライベートフォルダを見たいときはもちろん、機能を設定するときはまず「プライベートフォルダを表示」にしてください。

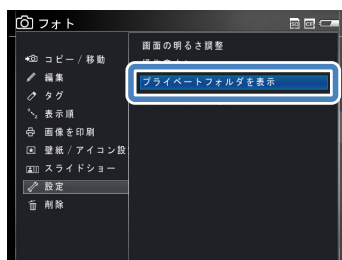
**1** データ一覧画面を表示し、【Menu】を押します。

「バックアップデータ 」、「フォト 」、「ビデオ 」のデータ一覧画面を表示します。
ポップアップメニューが表示されます。

## 2 「設定」を選び【→】または【OK】を押します。

サブメニューが表示されます。

## 3 「プライベートフォルダを表示」を選び、【OK】を押します。

パスワード入力画面が表示されます。

## 4 パスワードを入力します。

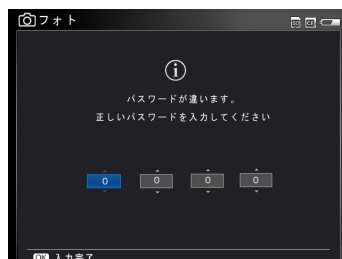
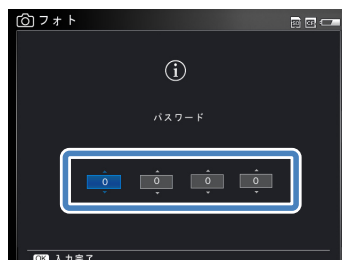
①【← →】を押して、桁を選びます。

②【↑ ↓】を押して、数字を選びます。

③4 桁の数字を設定できたら、【OK】を押します。

※購入時のパスワードは、「0000」に設定されています。パスワードは任意の 4 桁の数字に変更できます。（☞ 本書 69 ページ「パスワードを変更する」）

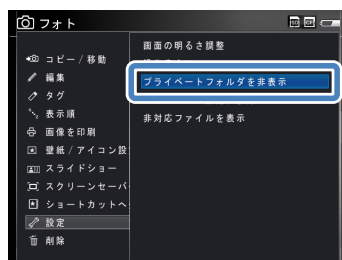
**パスワードを間違えて入力したときは**

右の画面が表示されます。パスワードを入力し直してください。

## 5 プライベートフォルダが表示状態になります。

処理中画面が表示された後、データ一覧画面に戻ります。
プライベートフォルダが表示されます。プライベートフォルダには、 ＊＊＊＊ マークが表示されています。

# プライベートフォルダを非表示にする

「プライベートフォルダを表示する」（☞ 本書 66 ページ）と同様の操作手順で非表示にします。
3 のサブメニューで「プライベートフォルダを非表示」を選びます。

その他の機能

## プライベート機能を設定する

プライベート機能は、「バックアップデータ 」、「フォト 」、「ビデオ 」のフォルダに設定できます。

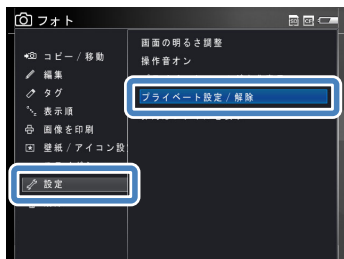
### 1 データ一覧画面を表示し、【Menu】を押します。

ポップアップメニューが表示されます。

### 2 「設定」を選び【→】または【OK】を押します。

サブメニューが表示されます。

### 3 「プライベート設定／解除」を選び、【OK】を押します。

フォルダ選択画面が表示されます。

### 4 プライベート機能を設定したいフォルダを選択します。

【Menu】を押す前に選ばれていたデータには、自動的にチェックマークが付きます。

①設定したいフォルダを選び、【OK】を押します。選択されたフォルダには、チェックマークが付きます。
選択を取り消す場合は、もう一度【OK】を押します。チェックマークが外れます。

※【Menu】を押すと、ポップアップメニューが表示され、一度の操作でフォルダ内のすべてのデータを選んだり、解除したりできます。(☞ 本書 9 ページ)

②選び終わったら【Display】を押します。
パスワード入力画面が表示されます。

### 5 パスワードを入力します。

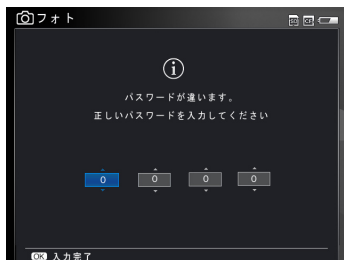
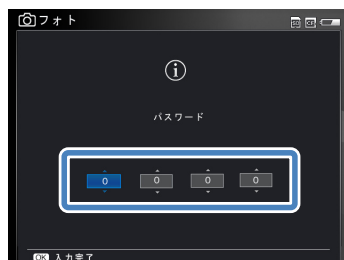
①【← →】を押して、桁を選びます。

②【↑ ↓】を押して、数字を選びます。

③4 桁の数字を設定できたら、【OK】を押します。

※購入時のパスワードは、「0000」に設定されています。パスワードは任意の 4 桁の数字に変更できます。(☞ 本書 69 ページ「パスワードを変更する」)

**パスワードを間違えて入力したときは**

右の画面が表示されます。パスワードを入力し直してください。

### 6 プライベート機能が設定されます。

処理中画面が表示された後、データ一覧画面に戻ります。
プライベート機能が設定されたフォルダには、＊＊＊＊ マークが表示されます。

## プライベート機能を解除する

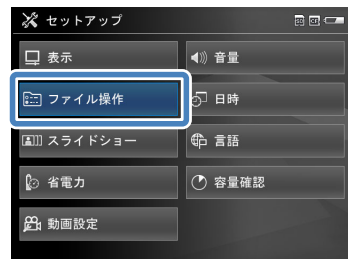
プライベートフォルダ表示状態で、「プライベート機能を設定する」（☞ 本書 68 ページ）と同様の操作手順で解除します。
データ選択画面（ 4 ）でチェックを外します。

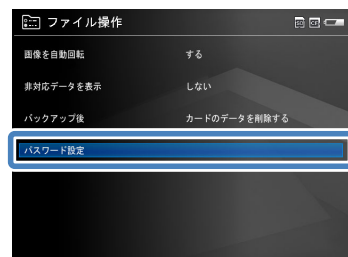
## パスワードを変更する

### 1 ホーム画面で「セットアップ」を選び、【OK】を押します。

設定画面が表示されます。

### 2 「ファイル操作」を選び、【OK】を押します。

ファイル操作設定画面が表示されます。

### 3 「パスワード設定」を選び【OK】を押します。

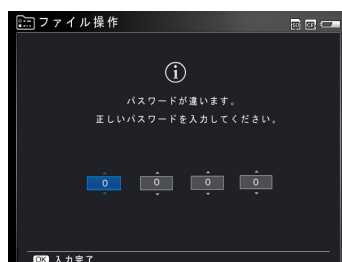
パスワード設定画面が表示されます。

## 4 現在のパスワード（初めて設定するときは「0000」）を入力します。

①【← →】を押して、桁を選びます。

②【↑ ↓】を押して、数字を選びます。

③4 桁の数字を設定できたら、「確認」を選び、【OK】を押します。

**パスワードを間違えて入力したときは**

右の画面が表示されます。パスワードを入力し直してください。

## 5 新しいパスワードを入力します。

4 と同様の操作で、4 桁の数字を入力します。入力し終わったら、【OK】を押します。

設定終了の画面が表示された後 3 の画面に戻ります。

パスワードを忘れてしまったときは、初期化すると購入時の設定（「0000」）に戻すことができます。（☞ 基本編 58 ページ）

# 不要なデータを削除する

## データを削除する

本製品に残さなくてもよいデータやフォルダは、以下の手順で削除します。「ミュージック」の音楽データの削除のしかたは、「音楽データや再生リストを削除する」（☞ 本書 59 ページ）を参照してください。

### 1 削除したいデータやフォルダを表示します。

データ一覧画面、全体表示画面、拡大表示画面のいずれの画面でもデータの削除ができます。
データ一覧画面から操作を行うと、一度に複数のデータを削除できます。
全体表示画面から操作を行うと、1 つずつ画像を確認しながら、フォルダ内の複数の画像データを連続して削除できます。

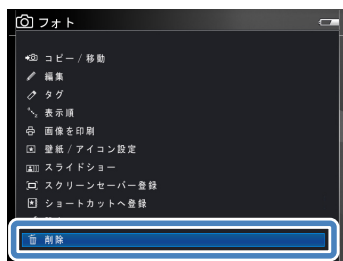
### 2 【Menu】を押します。

ポップアップメニューが表示されます。

### 3 「削除」を選びます。

データ一覧画面でポップアップメニューを表示した場合は、データ選択画面が表示されます。── 4 → 6 へ

全体表示中にポップアップメニューを表示した場合は、削除モードになります。
── 4 → 5 へ

拡大表示中にポップアップメニューを表示した場合は、削除確認画面が表示されます。
── 5 → 6 へ

### ■一度に複数の画像を削除する

### 4 削除したいデータやフォルダを選択します。

【Menu】を押す前に選ばれていたデータには、自動的にチェックマークが付きます。

①削除したいデータを選び、【OK】を押します。選択されたデータには、チェックマークが付きます。
選択を取り消す場合は、もう一度【OK】を押します。チェックマークが外れます。

②選び終わったら【Display】を押します。
削除確認画面が表示されます。

※保護されたフォルダやデータは選択できません。
※【Menu】を押すと、ポップアップメニューが表示され、一度の操作でフォルダ内のすべてのデータを選んだり、解除したりできます。（☞ 本書 9 ページ）

## 5 「はい」を選び、【OK】を押します。

削除を中止する場合は、「いいえ」を選び【OK】を押すか、【Cancel】を押します。

## 6 データやフォルダが削除されます。

処理中画面が表示された後、1 の画面に戻ります。

## ■画像を１つずつ削除する（削除モード）

## 4 「削除」を選び、【OK】を押します。

データが削除されます。

※削除確認画面は表示されませんので、注意してください。

**続けて別の画像を削除するには**

①削除したい画像を表示します。
【←】を押すと、１つ前の画像が表示されます。
【→】を押すと、次の画像が表示されます。

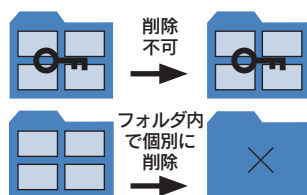
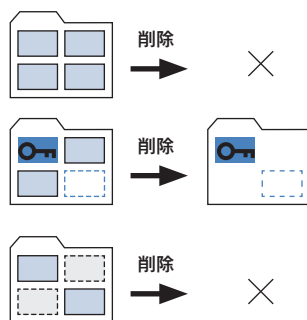
②「削除」を選び、【OK】を押します。

## 5 削除モードを終了するときは、【Cancel】を押します。

または、「キャンセル」を選び【OK】を押します。

保護されたフォルダは、削除時に選択できません。ただし、フォルダが保護されていてもフォルダ内のデータは保護されていませんので、フォルダ内のデータを個別に選択して削除することは可能です。

保護されていないフォルダを選んで削除を実行した場合は、

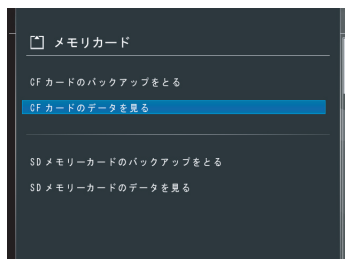
- フォルダ内に保護されたデータがないときは、フォルダとフォルダ内のすべてのデータが削除されます。
- フォルダ内に保護されたデータやプライベートフォルダを含んでいるときは、フォルダは削除されず、その中に保護されたデータやプライベートフォルダが残ります。
- フォルダ内に非対応データを含んでいるときは、非表示中でも、そのデータが保護されていないと削除されます。非対応データの非表示中に削除を実行するときは、ご注意ください。

保護されていないデータ
保護されたデータ
プライベートフォルダ
保護されていない非対応データ

その他の機能

# データをメモリカードにコピーする

本製品に保存されているデータを、メモリカードにコピーすることができます。メモリカードを媒体としてのデータ移動のほか、例えば、SD メモリーカードのデータを本製品に一時保存して、CF カードにコピーすれば、異なる種類のメモリカード間のデータ移動ができます。
「バックアップデータ 」、「フォト 」、「ビデオ 」のデータをコピーできます。「ミュージック」の音楽データはコピーできません。

## 1 コピーするメモリカードを挿入します。

メモリカードを挿入すると、右の画面が表示されます。【Cancel】を押します。

## 2 コピーしたいデータやフォルダがあるデータ一覧画面を表示して、【Menu】を押します。

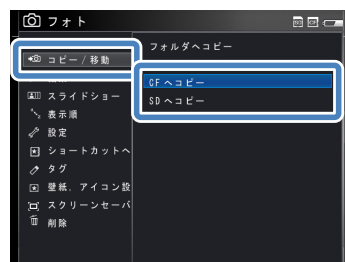
ポップアップメニューが表示されます。

## 3 「コピー／移動」を選び【→】または【OK】を押します。

サブメニューが表示されます。

## 4 「CF へコピー」または「SD へコピー」を選びます。

データ選択画面が表示されます。

メモリカードが挿入されていない場合は、メモリカード挿入催促画面が表示されます。【OK】または【Cancel】を押して画面を閉じ、1 からやり直します。

## 5 コピーしたいデータやフォルダを選択します。

【Menu】を押す前に選ばれていたデータには、自動的にチェックマークが付きます。

①コピーしたいデータを選び、【OK】を押します。選択されたデータには、チェックマークが付きます。
選択を取り消す場合は、もう一度【OK】を押します。チェックマークが外れます。

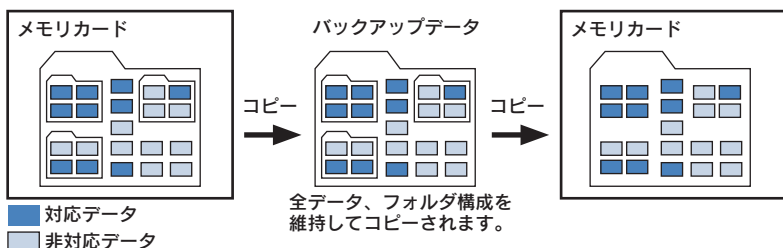
※【Menu】を押すと、ポップアップメニューが表示され、一度の操作でフォルダ内のすべてのデータを選んだり、解除したりできます。（☞ 本書 9 ページ）

②選び終わったら【Display】を押します。

## 6 コピーが始まります。

処理中画面が表示された後、コピーが完了するとデータ一覧画面に戻ります。

**参考**

- メモリカードのデータを「全バックアップ」で本製品にバックアップすると、メモリカード内のデータがフォルダ構成を維持したまますべてコピーされます。しかし、バックアップ済みのフォルダをメモリカードにコピーすると、元のフォルダ階層は維持されずに、すべてのデータが一つの階層にまとめてコピーされます。

- メモリカードにコピーした画像データは、デジタルカメラにセットしても表示されない場合があります。（これは、デジタルカメラが通常は認識しない領域にデータがコピーされるためです。）

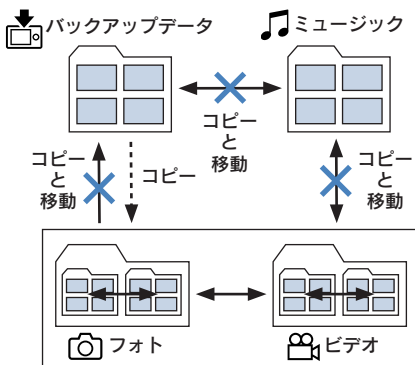
# データをコピー／移動する

データのコピー／移動は、既存のフォルダへのコピー／移動はもちろん、新しくフォルダを作ってコピー／移動することができます。

**参考**

- 保護されたデータやフォルダは、移動できません。

データが保存されているフォルダによって以下の制限があります。

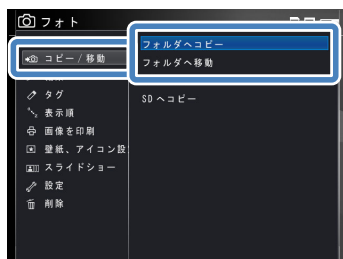
- 「バックアップデータ」フォルダからは、「フォト」フォルダ、「ビデオ」フォルダへのコピーができますが、移動はできません。
- 「フォト」フォルダ、「ビデオ」フォルダから「バックアップ」フォルダへは、コピー／移動はできません。
- 「フォト」フォルダ、「ビデオ」フォルダは、それぞれのフォルダ内の各フォルダ間、「フォト」フォルダと「ビデオ」フォルダ間を自由にコピー／移動できます。
- 「ミュージック」フォルダへは、コピー／移動はできません。また、「ミュージック」内のデータのコピー／移動もできません。

## 1 コピー／移動したいデータやフォルダがあるデータ一覧画面を表示して、【Menu】を押します。

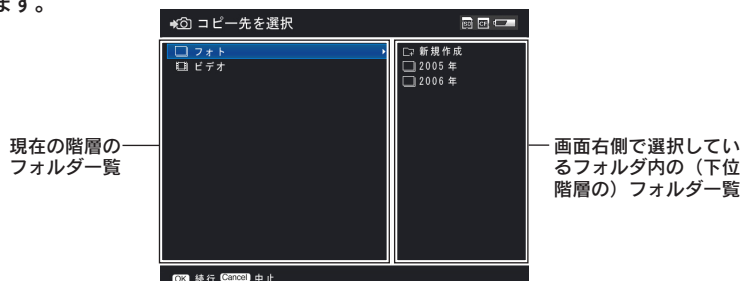
ポップアップメニューが表示されます。

## 2 「コピー／移動」を選び【→】または【OK】を押します。

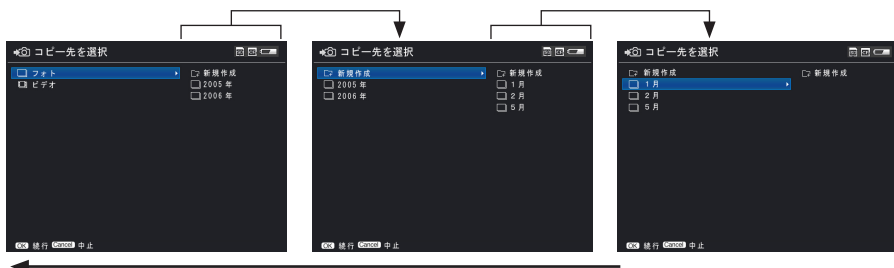
サブメニューが表示されます。

## 3 「フォルダへコピー」または「フォルダへ移動」を選び、【OK】を押します。

コピー／移動先選択画面が表示されます。

## 4 コピー／移動先を選びます。

画面左側に、1 で選択したデータやフォルダがあるフォルダ内の、フォルダ一覧が表示されます。画面右側には、左側で選択されているフォルダのサブフォルダ一覧が表示されます。

例えば、「フォト」フォルダ内の A フォルダの画像 1 を選択していた場合は、右側には A フォルダ内のフォルダ一覧、左側に A フォルダ内のサブフォルダ一覧が表示されます。

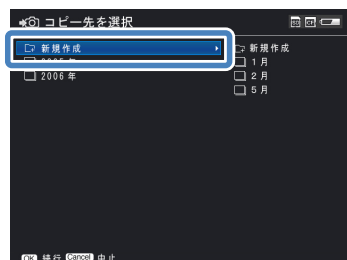
①コピー／移動先を選びます。選択は画面左側で行います。

【→】を押すと、下位階層のフォルダ一覧へ移動します。

【←】を押すと、上位階層のフォルダ一覧へ移動します。

②【OK】を押します。

既存フォルダにコピー／移動する場合は、フォルダを選び【OK】を押します。
── 6 へ

新しくフォルダを作る場合は、フォルダを作成する階層で、「新規作成」を選び【OK】を押します。── 5 へ

その他の機能

## 5 文字入力画面でフォルダ名を入力します。

フォルダ名は、自動的に日付「YYYYMMDD」が付けられます。（同一名がすでに存在するときは、末尾に 001 からの通し番号が付きます。）文字を入力して、お好みのフォルダ名に変更します。
入力のしかたは「ソフトキーボードを使った入力のしかた」（☞ 本書 53 ページ）を参照してください。

入力を完了すると、データ選択画面が表示されます。

## 6 コピー／移動したいデータやフォルダを選択します。

【Menu】を押す前に選ばれていたデータには、自動的にチェックマークが付きます。

①コピー／移動したいデータを選び、【OK】を押します。選択されたデータには、チェックマークが付きます。
選択を取り消す場合は、もう一度【OK】を押します。チェックマークが外れます。

※【Menu】を押すと、ポップアップメニューが表示され、一度の操作でフォルダ内のすべてのデータを選んだり、解除したりできます。（☞ 本書 9 ページ）

②選び終わったら【Display】を押します。

## 7 コピー／移動が始まります。

処理中画面が表示された後、コピー／移動が完了するとデータ一覧画面に戻ります。

# アルバムを作成する

画像データにタグ（付箋）を付けて、タグが付いている画像データだけを集めて表示することができます。このデータ一覧を「アルバム」と呼びます。
タグの種類は、10 種類あります。そのうちの 1 種類は音楽再生時の壁紙用（☞ 本書 62 ページ「音楽再生時の壁紙を変更する」）です。残りの 9 種類のタグは、用途に合わせて自由にタグ名を付けることができます。

**参考**

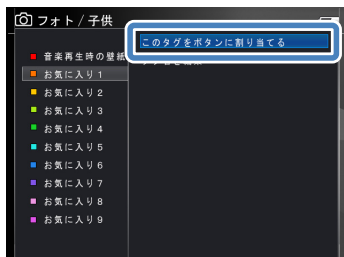
- 1 つのアルバムに登録できる画像データの数は、300 個までです。
- タグは、静止画または動画にのみ付けることができます。フォルダには付けられません。

## 画像データにタグ（付箋）を付ける

【Tag】ボタンに 10 種類のタグの 1 つを割り当ててから、画像データにタグを付けていきます。

### 【Tag】ボタンにタグを割り当てる

**1** データ一覧画面、アルバム一覧画面を表示するか、全体または拡大表示中に、【Tag】を長押しします。

タグ名一覧画面が表示されます。
購入時は、タグ名は「お気に入り 1」から「お気に入り 9」と付けられています。

**2** お好みのタグを選び【→】または【OK】を押し、「このタグをボタンに割り当てる」を選びます。

選んだタグが【Tag】ボタンに割り当てられました。

### 画像データにタグを付ける①

**1** タグを付けたい画面を選択または表示して、【Tag】を押します。

データ一覧画面、全体表示画面、拡大表示画面でタグを付けることができます。

【Tag】ボタンに割り当てられているタグが付けられます。

タグを外す場合は、もう一度【Tag】を押します。タグが消えます。

## 画像データにタグを付ける②

データ一覧画面、全体表示画面、拡大表示画面のポップアップメニューでもタグを付けることができます。【Tag】ボタンに割り当てられているタグに関係なく、複数の画像データにタグを付けることができます。

### 1 タグを付けたい画像データを表示します。

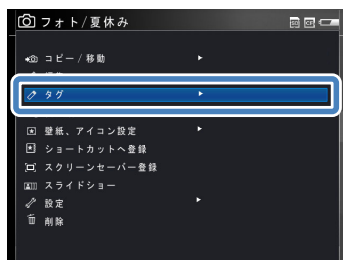
データ一覧画面、全体表示画面のいずれの画面でも設定することができます。
データ一覧画面から操作を行うと、一度に複数の画像に同一のタグを付けることができます。
全体表示画面から操作を行うと、1 つずつ画像を確認しながら、フォルダ内の複数の画像にタグを選びながら付けることができます。

### 2 【Menu】を押します。

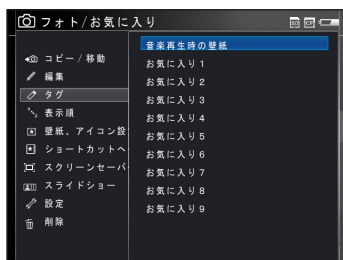
ポップアップメニューが表示されます。

### 3 「タグ」を選び【→】または【OK】を押します。

データ一覧画面でポップアップメニューを表示した場合は、サブメニューが表示されます。── 4 → 6 へ

全体表示中にポップアップメニューを表示した場合は、タグモードになります（静止画のみ）。
── 4 → 5 へ

### ■一度に複数の画像にタグを付ける

### 4 お好みのタグを選び【OK】を押します。

データ選択画面が表示されます。

## 5 タグを付ける画像データを選択、または表示します。

【Menu】を押す前に選ばれていたデータには、自動的にチェックマークが付きます。

①タグを付けたい画像データを選び、【OK】を押します。選択されたデータには、チェックマークが付きます。
選択を取り消す場合は、もう一度【OK】を押します。チェックマークが外れます。

②選び終わったら【Display】を押します。

※【Menu】を押すと、ポップアップメニューが表示され、一度の操作でフォルダ内のすべてのデータを選んだり、解除したりできます。（☞ 本書 9 ページ）

## 6 選択した画像データにタグが付けられます。

処理中画面が表示された後、1 の画面に戻ります。

## ■画像 1 つずつにタグを付ける（タグモード）

## 4 お好みのタグを選び、【OK】を押します。

タグが付けられます。
もう一度【OK】を押すと、タグは解除されます。

1 つの画像に、複数のタグを付けることができます。別のタグを選んで、【OK】を押します。

**続けて別の画像にタグを付けるには**

①タグを付けたい画像を表示します。
【←】を押すと、1 つ前の画像が表示されます。
【→】を押すと、次の画像が表示されます。

②【↑ ↓】でタグを選び、【OK】を押します。

## 5 タグモードを終了するときは、【Cancel】を押します。

または、「キャンセル」を選び【OK】を押します。

## タグ名（アルバム名）を変更する

「お気に入り 1」から「お気に入り 9」は、お好みの名前に変更できます。

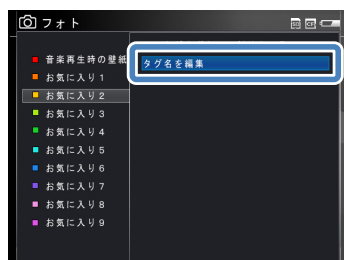
**1** データ一覧画面、アルバム一覧画面を表示するか、全体または拡大表示中に、【Tag】を長押しします。

タグ名一覧画面が表示されます。

**2** お好みのタグを選び【→】または【OK】を押します。

文字入力画面が表示されます。

**3** 「タグ名を編集」を選びます。

文字入力画面が表示されます。

**4** 文字を入力して、お好みのタグ名に変更します。

入力のしかたは「ソフトキーボードを使った入力のしかた」（☞ 本書 53 ページ）を参照してください。

入力を完了すると、1 の画面に戻ります。

参考

「音楽再生時の壁紙」のタグ名は変更できません。

## アルバムを見る

アルバムは、タグデータベースから作成される仮想アルバムです。タグフォルダの中には、画像データは存在しません。タグの付けられた画像データの画像を表示しているのみです。しかし、「フォト」や「ビデオ」フォルダの画像データと同じように画像を見たり、コピー／印刷／スライドショーができます。画像データの移動、削除はできません。

### 1 ホーム画面で「タグ」を選び、【OK】を押します。

アルバム一覧が表示されます。

### 2 見たいアルバムを選び、【OK】を押します。

データ一覧画面が表示されます。

【Display】を押すと、リスト表示に変えることができます。

### 3 静止画を全体表示で見るときや、動画を再生するときは、画像データを選んで【OK】を押します。

全体表示中、または動画再生中にできるボタン操作は、「フォト」や「ビデオ」フォルダでの操作と同じです。

**参考**

- 【Menu】を押してポップアップメニューを表示すると、コピー、印刷、スライドショーを実行できます。
- アルバム画面で､タグを付けたり外したりできます。表示中のアルバムのタグを外すと、その画像はアルバムから削除されます。
- プライベートフォルダ内の画像データにタグを付けた場合は、アルバムの画像もプライベートフォルダ表示時にのみ見ることができます。

# フォルダや壁紙をカスタマイズする

各フォルダは、フォルダ名を付け直したり、フォルダに表示されている画像(アイコン)をお好みの画像に変更できます。また､壁紙やスクリーンセーバー用の画像も、保存されている画像データから選び、設定することができます。

## フォルダ名を変更する

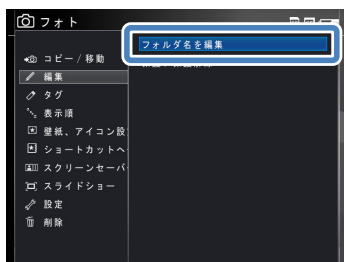
### 1 フォルダ名を変更したいフォルダを選び、【Menu】を押します。

ポップアップメニューが表示されます。

### 2 【編集】を選び、【→】または【OK】を押します。

サブメニューが表示されます。

### 3 「フォルダ名を編集」を選びます。

文字入力画面が表示されます。

### 4 文字を入力して、お好みのフォルダ名に変更します。

入力のしかたは「ソフトキーボードを使った入力のしかた」(☞ 本書 53 ページ)を参照してください。

入力を完了すると、1 の画面に戻ります。

## フォルダのアイコンや壁紙を設定する

アルバムのアイコンも同様の方法で設定できます。

### 1 フォルダのアイコンまたは壁紙にしたい画像データを選び、【Menu】を押します。

アルバム内の動画を選んだ場合は、壁紙に設定できません。

ポップアップメニューが表示されます。

### 2 「壁紙、アイコン設定」を選び【→】または【OK】を押します。

サブメニューが表示されます。

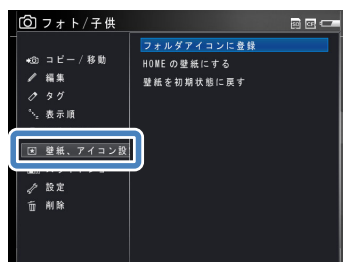
**フォルダアイコンに登録**

選択中の画像データが、そのデータが保存されているフォルダのアイコンに登録されます。

**HOME の壁紙にする**

選択中の画像データが、ホーム画面の壁紙に設定されます。

**壁紙を初期状態に戻す**

購入時の壁紙に設定されます。

### 3 希望の選択肢を選びます。

フォルダのアイコンや壁紙が、設定した画像に変更されます。

**参考**

- 著作権保護のかかった DivX ファイル（DivX VOD ファイル）は、フォルダのアイコンやホーム画面の壁紙に設定できません。
- ホーム画面のショートカット（☞ 本書 26 ページ「ショートカットを登録する」）に設定しているフォルダのアイコンを変更した場合は、ショートカットのアイコンも同じアイコンに変わります。

## スクリーンセーバーの画像を設定する

静止画像をスクリーンセーバー用に登録すると、登録した画像が順にスライドショーで表示されます。

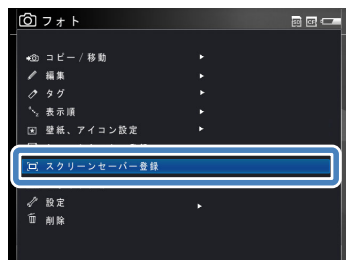
### 1 設定したい画像データが保存されているフォルダ、またはアルバムを選び、【Menu】を押します。

ポップアップメニューが表示されます。

### 2 「スクリーンセーバー登録」を選びます。

設定した画像に変更されます。
登録されたフォルダまたはアルバムには、「[■]」マークが表示されます。

**スクリーンセーバーを購入時の画像に戻すには**

設定したフォルダを選び、ポップアップメニューを表示し、「スクリーンセーバー解除」を選びます。

**参考**

スクリーンセーバーは、現在のスライドショーの設定と同じ設定で表示されます。ただし、BGM は再生されません。（☞ 本書 35 ページ「スライドショーの効果を設定する」）

# テレビに接続して見る

本製品をテレビやプロジェクターなどビデオ入力機能のある映像機器と接続すると、接続した映像機器で、液晶モニタで見るときと同様に画像やスライドショーを見ることができます。

## 本製品とテレビを接続する

参考

ビデオデッキに接続する場合も、同様に「入力端子」に接続します。

TV

入力 映像 音声 左 右

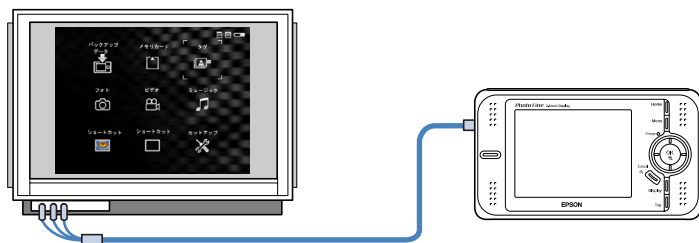
入力端子

ビデオケーブル（市販品）

1 テレビに接続する

2 本製品に接続する

※ 本製品の電源がオンのときでも接続できます。
※ ビデオケーブルを接続すると、液晶モニタはオフになります。

3 テレビの表示を本製品からの映像入力に合わせる

参考

- 使用する表示機器（テレビなど）によっては、画面の上下が表示できないことがあります。
- 動作確認済みのビデオケーブル

| メーカー | ケーブル |
|---|---|
| ソニー | VMC-20FR |
| オーディオテクニカ | AT5V99/1.5 |

最新情報については、エプソンのホームページ（http://www.epson.jp）をご覧ください。

## テレビに静止画／動画を表示する

液晶モニタで静止画／動画を表示する操作と同様の操作で、テレビでご覧いただけます。

## テレビからビューワを取り外す

使用後は、本製品とテレビからビデオケーブルを抜きます。

!注意

テレビやビデオデッキと接続するとき以外は、本製品からビデオケーブルを取り外してお使いください。

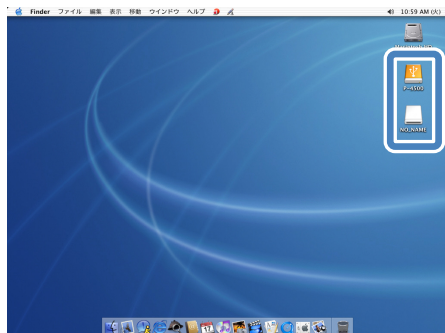
# カードリーダーとして使用する

付属の USB ケーブルを使ってパソコンに接続すると、本製品は外付けのハードディスクとして認識されます。メモリカードを挿入している場合は、メモリカードに直接アクセスすることができます。

## Windows の場合

カードドライブが、カードスロットごとに単独でマウントされます。
クリックして、直接アクセスできます。

## Macintosh の場合

メモリカードが挿入されていると、カードドライブがカードスロットごとに単独でマウントされます。
クリックして、直接アクセスできます。

## ！注意

- 本製品をパソコンに接続するときは、必ず、本製品に AC アダプタを接続してください。不意のバッテリ切れ（電圧低下）などにより本製品のハードディスクが壊れる可能性があります。
- パソコンに接続するときは、あらかじめホーム画面を表示させておきます。（ホーム画面以外の画面で接続しても、パソコンには認識されません。）
- 本製品のハードディスクをパソコンから絶対にフォーマットしないでください。本製品が正しく動作しなくなります。
- 既存のフォルダ名は変更しないでください。フォルダ名を変更すると、本製品でフォルダやフォルダ内のデータを認識できなくなる可能性があります。
- パソコンから本製品を取り外すときは、必ず「パソコンから取り外す」（☞ 基本編 30 ページ）の手順に従って取り外してください。

## 参考

メモリカードには、非対応データ（BMP 画像や文書ファイルなど）も保存することができます。

# ビューワ内の静止画／動画を直接印刷する

本製品は、パソコンを使わず直接プリンタに接続し、画像を印刷できます。「プリンタと接続する」、「印刷設定をする」、「印刷する」の 3 段階で、きれいな写真が仕上がります。

## 使用できるプリンタ

本製品はエプソン製の USB DIRECT-PRINT 対応プリンタと接続することで、ダイレクトプリントができます。プリンタの機種は次の通りです。（2006 年 6 月現在）
最新の対応プリンタは、エプソンのホームページ（http://www.epson.jp）でご確認ください。

- PM-A700
- PM-A750
- PM-A820
- PM-A850
- PM-A870
- PM-A890
- PM-A900
- PM-A920
- PM-A950
- PM-A970
- PM-D600
- PM-D750
- PM-D770
- PM-D800
- PM-D870
- PX-D1000
- PM-G850
- PM-G4500
- PM-T990
- PX-A650
- PX-A720
- E-100
- E-150
- E-200
- E-300
- E-500
- E-700

**参考**

本製品から印刷を行った場合、パソコンから印刷を行った場合と印刷結果（色合い）が異なることがあります。

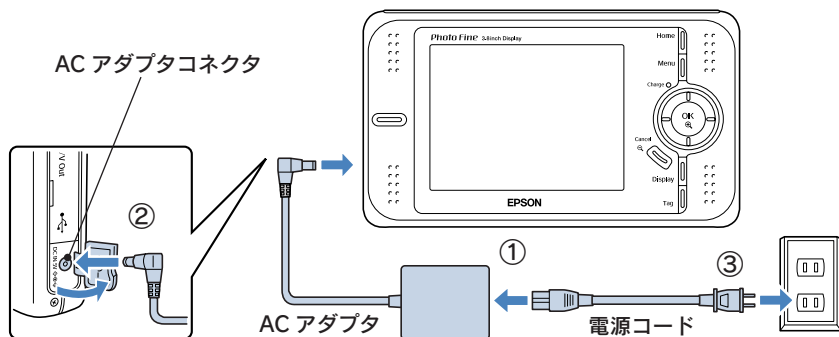
## プリンタに接続する

本製品とプリンタは以下のように接続します。

**！注意**

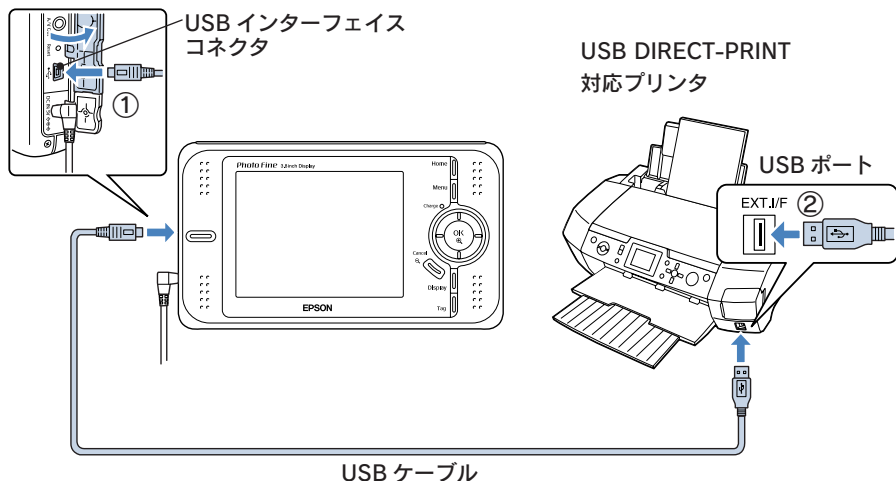
- 本製品をプリンタに接続するときは、必ず、本製品に AC アダプタを接続してください。
- パソコンやプリンタと接続するとき以外は、本製品から USB ケーブルを取り外してお使いください。

### 1 AC アダプタを接続して、電源をコンセントから取ります。

① AC アダプタと電源コードを接続します。
② AC アダプタのジャックを、ビューワの AC アダプタコネクタへ差し込みます。
③プラグをコンセントへ差し込みます。

## 2 ビューワをプリンタに接続します。

付属の USB ケーブルを使って接続します。

①USB ケーブルの小さいコネクタを、ビューワの USB インターフェイスコネクタへ差し込みます。

②USB ケーブルの大きいコネクタを、プリンタの USB ポートへ差し込みます。

**！注意**

USB ケーブルのコネクタには、向きがあります。コネクタの向きをよく確認して、差し込んでください。

**参考**

- プリンタ側の接続方法については、プリンタの取扱説明書を参照してください。
- ダイレクトプリントの設定・印刷中は、省電力機能による電源オフにはなりません。

## プリンタから取り外すときは

本製品の液晶モニタで印刷が終了していることを確認してから、本製品をプリンタから取り外してください。（本製品とプリンタは、どちらも電源オンのまま取り外し可能です。）

# 静止画を印刷する

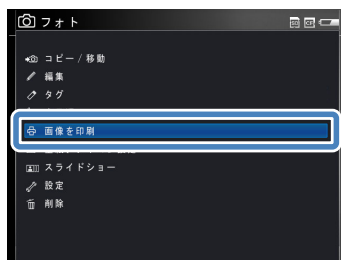
静止画データは、以下の手順で画像を印刷します。
画像を表示しているとき、データ一覧画面を表示しているときなど、いろいろなタイミングから印刷を始めることができます。

RAW データの印刷はできません。

## 1 データ一覧画面、全体表示画面で【Menu】を押します。

ポップアップメニューが表示されます。

## 2 「画像を印刷」を選び、【OK】を押します。

データ選択画面が表示されます。

## 3 各画像の印刷枚数を指定します。

**データ一覧画面の場合**

①【↑　↓ ← →】で、印刷する静止画を選び、【OK】を押します。
②枚数指定【↑　↓】で、印刷枚数を指定します。
③【OK】または【← →】を押します。
- 【OK】を押すと、次の静止画も【↑　↓ ← →】で選べます。【OK】を押してから【↑　↓】で印刷枚数を指定します。
- 【← →】を押すと、次の静止画の選択は【← →】のみの操作になりますが、そのまま【↑　↓】で印刷枚数を指定できます。

④①～③を繰り返して、どの静止画を何枚印刷するか、指定します。
⑤指定し終わったら、【Display】を押します。印刷設定画面が表示されます。

データ一覧画面での枚数指定

**全体表示画面の場合**

①【← →】で、印刷する静止画を選びます。
②【↑　↓】で、印刷枚数を指定します。
③①と②を繰り返して、どの静止画を何枚印刷するか、指定します。
④指定し終わったら、【OK】を押します。印刷設定画面が表示されます。

全面表示画面での枚数指定

## 4 印刷設定を指定します。

①【↑ ↓】で項目を選びます。

②【← →】で選択肢を選びます。

印刷設定の詳細については、「印刷設定を変更する」（☞ 本書 96 ページ）を参照してください。

印刷設定
印刷開始
部数 1
用紙 写真用紙 A4
総印刷枚数 5
レイアウト 4 面割付
日付印刷 印刷しない
Exif 情報印刷 印刷しない
印刷モード 高画質
Cancel 中止

総印刷枚数

**用紙**

印刷する用紙のサイズと種類を指定します。プリンタの機種によって、指定できるサイズが異なります。

**レイアウト**

1 枚の用紙に画像をどのように割り付けて印刷するか指定します。プリンタの機種によって、指定できるレイアウトが異なります。

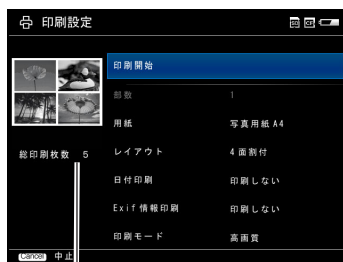
**日付印刷**

日付の印刷する／しないを設定します。

**Exif 情報印刷**

Exif 情報（ファイル名、F 値、ISO 値、シャッター速度）の印刷する／しないを設定します。

**印刷モード**

印刷画質を、高速／高画質／最高画質から選びます。プリンタの機種によって、指定できる印刷モードが異なります。

## 「印刷開始」を選び【OK】を押して、印刷を開始します。

印刷中画面が表示されます。

印刷枚数が設定されていない場合は、3 の全面表示での枚数設定画面に戻ります。もう一度 3 から操作してください。（印刷設定は記憶されています。）

印刷が正常に終了すると、1 の画面に戻ります。

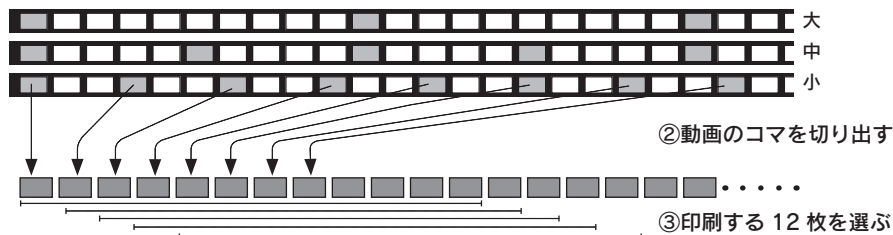
**参考**

- P.I.F 印刷はできません。
- DPOF や PictBridge には対応していません。

## 印刷を中止するときは

設定途中や印刷開始後に印刷を中止したいときは【Cancel】を押します。表示される画面に従って操作してください。（印刷を中止しても、すでにプリンタに送信された画像データは印刷されます。）

# 動画を印刷する

動画のコマを自動的に切り出し、連続する 12 コマを選び、印刷することができます。

**参考**

- 印刷できる用紙サイズは、L 判、ハガキのみです。
- 12 面付けで印刷されます。他のレイアウトは選択できません。
- 著作権保護付きの DivX 動画は、印刷できません。

## 1 印刷したい動画を選び、【OK】を押します。

動画の再生が始まります。

## 2 印刷したい動画のシーンを表示します。

必要に応じて早送り／巻き戻しをして、印刷したいシーンを表示します。
厳密にシーンを選びたいときは、【OK】を押して一時停止してから【←→】でコマ送りをすると、希望のシーンを表示できます。

## 3 【Menu】を押します。

ポップアップメニューが表示されます。

## 4 「動画を印刷」を選び【→】または【OK】を押し、切り出し間隔を選びます。

フレームの間隔：大

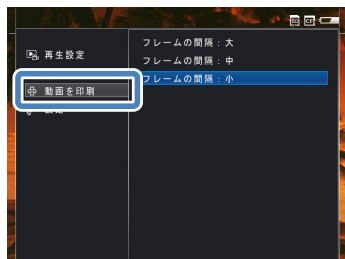
広い間隔で切り出します。

フレームの間隔：中

大と小の中間の間隔で切り出します。

フレームの間隔：小

狭い間隔で切り出します。

切り出し中画面が表示された後、切り出されたコマが表示されます。

## 5 印刷するコマを選びます。

①【← →】でコマを前後に移動して、印刷するコマを表示します。

②コマが決まったら、【OK】を押します。

切り出しをやり直したい場合は、【Cancel】を押します。2 の画面に戻ります。

## 6 印刷設定を指定します。

①【↑ ↓】で項目を選びます。

②【← →】で選択肢を選びます。

印刷設定の詳細については、「印刷設定を変更する」（☞ 本書 96 ページ）を参照してください。

**部数**

印刷部数を指定します。

**用紙**

印刷する用紙のサイズと種類を指定します。プリンタの機種によって、指定できるサイズが異なります。

**印刷モード**

印刷画質を、高画質／高速／最高画質から選びます。プリンタの機種によって、指定できる印刷モードが異なります。

## 7 「印刷開始」を選び【OK】を押して、印刷を開始します。

印刷中画面が表示されます。

印刷が正常に終了すると、1 の画面に戻ります。

- データ一覧画面で動画を選び 3 から操作しても、動画の印刷ができます。この場合、切り出されるコマは動画の最初の画像からになります。

## 印刷を中止するときは

設定途中や印刷開始後に印刷を中止したいときは【Cancel】を押します。表示される画面に従って操作してください。（印刷を中止しても、すでにプリンタに送信された画像データは印刷されます。）

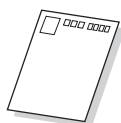
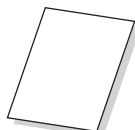
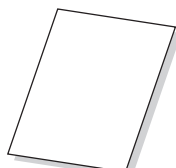
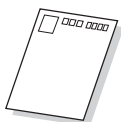
## 印刷設定を変更する

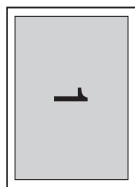
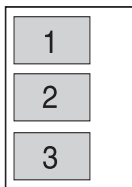
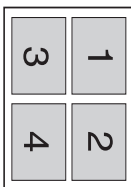
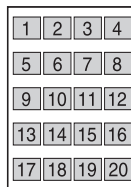
印刷設定画面では以下の項目を設定します。

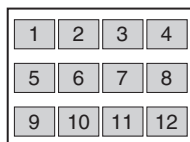
### ①部数＜動画印刷のみ＞

印刷部数を指定します。

### ②用紙＜静止画／動画印刷共通＞

印刷する用紙のサイズと種類を選択します。プリンタの機種によって、指定できるサイズが異なります。

### ③レイアウト＜静止画印刷のみ＞

印刷するレイアウトを選択します。プリンタの機種によって、指定できるレイアウトが異なります。

**参考**

動画印刷のレイアウトは、12 面付けのみです。

### ③日付印刷＜静止画印刷のみ＞

画像に、撮影した日付を印刷する／しないを選択します。

印刷される日付は Exif データから設定されます。日付情報がないデータはファイルの日付が印刷されます。

### ④ Exif 情報印刷＜静止画印刷のみ＞

ファイル名、F 値、ISO 値、シャッター速度などの情報の印刷する／しないを選択します。レイアウトによって、印刷位置が変わります。

### ⑥印刷モード＜静止画／動画印刷共通＞

印刷モードを選択します。プリンタの機種によって、指定できる印刷モードが異なります。

高速　　：印刷速度を重視した設定で印刷します。
高画質　：推奨設定で印刷します。
最高画質：最高の印刷品質が得られる設定で印刷します。

## 対応用紙と印刷モードについて

印刷するときは以下の用紙と印刷モードを確認してください。対応用紙や設定方法はプリンタによって異なりますので、お使いのプリンタの取扱説明書を参照してください。

| 使用する用紙 | 「用紙」の設定 | 「印刷モード」の設定 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 高速 | 高画質 | 最高画質 |
| 官製ハガキ（インクジェット紙） | 郵便ハガキ（インクジェット） | ○ | ○ | × |
| 写真用紙＜光沢＞<br>写真用紙＜絹目調＞ | 写真用紙ハガキ | × | ○ | ○ |
| | 写真用紙 L 判 | × | ○ | ○ |
| | 写真用紙 2L 判 | × | ○ | ○ |
| | 写真用紙 A4 | × | ○ | ○ |
| 写真用紙クリスピア＜高光沢＞ | 写真用紙クリスピア L 判 | × | ○ | ○ |
| | 写真用紙クリスピア 2L 判 | × | ○ | ○ |
| | 写真用紙クリスピア A4 | × | ○ | ○ |

E-100、E-150、E-200、E-300、E-500、E-700 を使用する場合、2L 判、A4 サイズの用紙および写真用紙クリスピア＜高光沢＞は使用できません。また、選択できるレイアウトは全面（フチあり／フチなし）のみになります。

付録
# 設定一覧

ホーム画面で「セットアップ」を選択すると、以下のセットアップ画面が表示されます。
いろいろな機能を、お好みに合わせて使いやすく設定することができます。

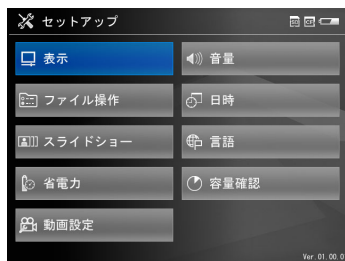
## セットアップ画面で設定する

セットアップ画面の操作について説明します。

**1** ホーム画面で「セットアップ 」を選び、【OK】を押します。

セットアップ画面が表示されます。

**2** 設定項目を選び、【OK】を押します。

各項目の設定画面が表示されます。

**3** 設定します。

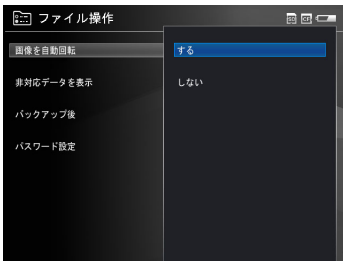
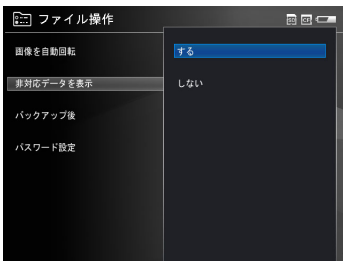
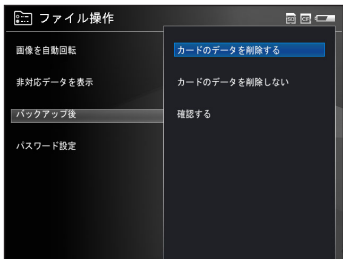
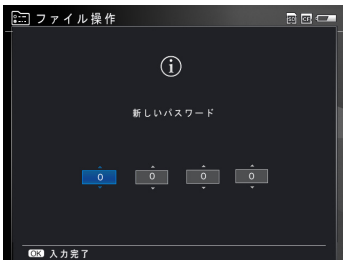
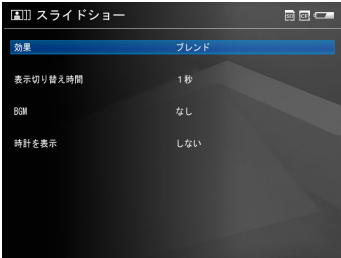
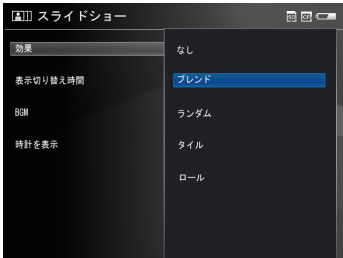
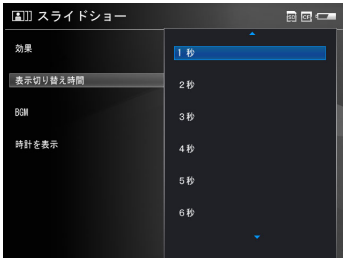
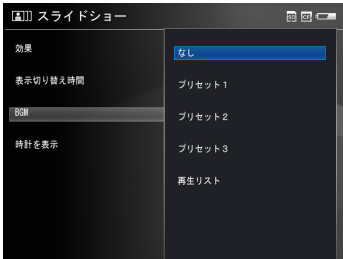
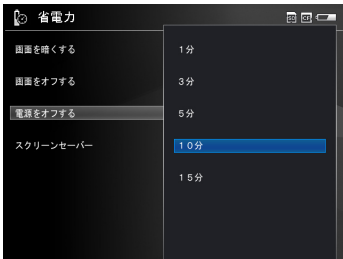
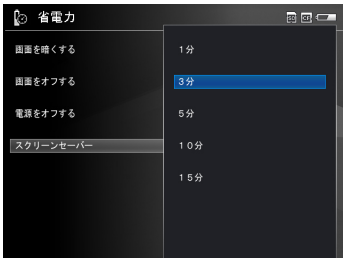
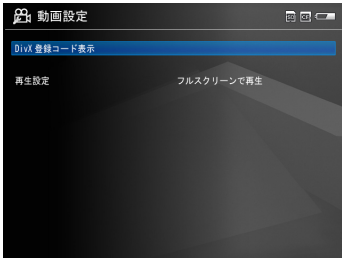
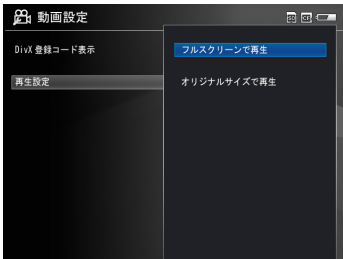
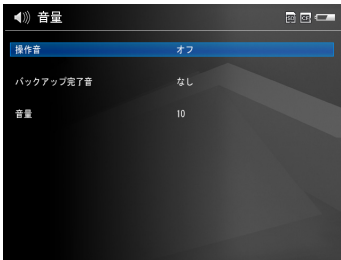
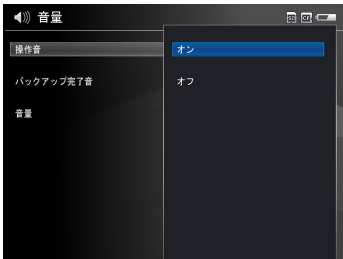
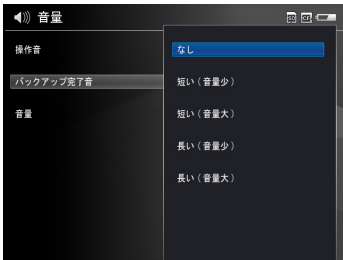
①項目を選び【→】または【OK】を押すと、サブメニューが表示されます。
②【↑ ↓】設定値を選び、【OK】を押します。
　設定が有効になり、サブメニューは閉じます。
　【Cancel】を押すと変更内容は無効となり、設定変更前の状態に戻ります。

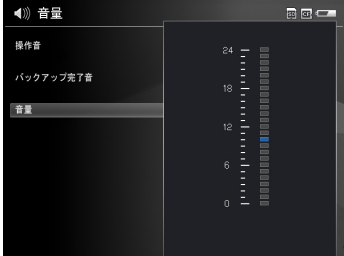
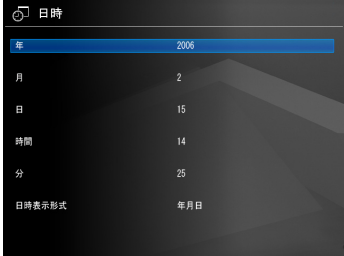
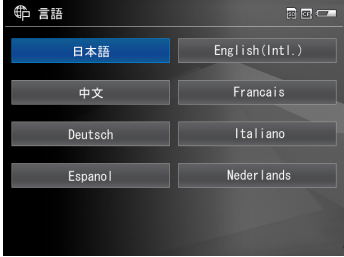
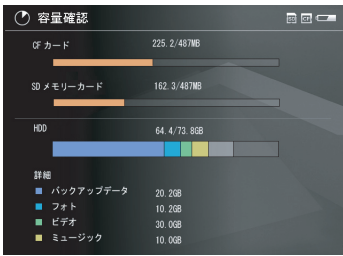
③別の設定画面の設定をしたいときは、【Cancel】を押します。2 の画面に戻ります。

**言語設定の場合**

【↑ ↓ ← →】で選択し、【OK】を押します。

**！注 意**

言語の設定を変更すると、ショートカットが消えたり、タグアルバムが開けなくなったりすることがあります。設定を元に戻すとファイルやフォルダにはアクセスできるようになりますが、タグなどは元に戻りません。
言語の設定を変更する場合は注意して行ってください。

## 4 設定し終わったら、【Home】または【Cancel】を押します。

ホーム画面に戻ります。

| 設定項目 | 設定内容<br>設定値（太字：購入時の設定） |
| --- | --- |
|  表示<br> | |
|  | **画面の明るさ**<br>1 ← **7** → 10<br>（暗い ← → 明るい） |
|  | **ビデオ信号**<br>• **NTSC**<br>• PAL<br>※ビデオ信号方式には「NTSC」と「PAL」方式があり、国によって異なります。日本は「NTSC」方式ですので、通常は「NTSC」のままでお使いください。 |
|  ファイル操作<br> | |

| 設定項目 | 設定内容<br>設定値（太字：購入時の設定） |
|---|---|
|  | **画像を自動回転**<br>• **する**<br>• しない<br>※画像の回転情報は、Exif 情報から読み出されます。 |
|  | **非対応データを表示**<br>• する<br>• **しない**<br>※非対応データとは、本製品では扱うことができないデータ（BMP 画像や文書ファイルなどの一般データ）の総称です。 |
|  | **バックアップ後**<br>• カードのデータを削除する<br>データの取り込み後、メモリカード内のデータを削除します。<br>• **カードのデータを削除しない**<br>データの取り込み後、メモリカード内のデータを残します。<br>• 確認する<br>データの取り込み後にメモリカード内のデータを削除する／しないを、取り込み実行前に毎回確認します。 |
|  | **パスワード設定**<br>プライベートフォルダを設定／設定解除／表示／非表示にする際のパスワードを設定します。<br>購入時は、「0000」に設定されています。<br>設定方法は、基本編 58 ページを参照してください。 |

<table>
<tr><th>設定項目</th><th>設定内容<br>設定値（太字：購入時の設定）</th></tr>
<tr><td colspan="2">
スライドショー
</td></tr>
<tr><td>
</td><td>
効果

- なし
- **ブレンド**
- ランダム
- タイル
- ロール
</td></tr>
<tr><td>
</td><td>
表示切り替え時間

**1** 秒 ← → 30 秒
※画像の解像度（大きさ）によって設定した時間より長くかかる場合があります。
</td></tr>
<tr><td>
</td><td>
BGM

- **なし**
- プリセット 1
- プリセット 2
- プリセット 3
- 再生リスト
</td></tr>
</table>

| 設定項目 | 設定内容<br>設定値（太字：購入時の設定） |
| --- | --- |
|  | **時計を表示**<br>• **する**<br>• しない |
|  省電力<br> | |
|  | **画面を暗くする**<br>**1 分**、3 分、5 分、10 分、15 分 |
|  | **画面をオフする**<br>1 分、3 分、**5 分**、10 分、15 分 |

<table>
<tr><th>設定項目</th><th>設定内容<br>設定値（太字：購入時の設定）</th></tr>
<tr><td>
</td><td>電源をオフする<br><br>1 分、3 分、5 分、10 分、15 分</td></tr>
<tr><td>
</td><td>スクリーンセーバー<br><br>1 分、3 分、5 分、10 分、15 分<br><br>スクリーンセーバーに切り替わるまでの時間を設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="2"> 動画設定<br>
</td></tr>
<tr><td>
</td><td>DivX 登録コード表示<br><br>DivX 登録コードを表示します。<br>※設定はできません。<br>※DivX 登録コードとは、著作権プロテクトを解除するための 8 桁の英数字コードです。販売（レンタル）されている動画を購入するときに、入力が要求されます。</td></tr>
</table>

| 設定項目 | 設定内容<br>設定値（太字：購入時の設定） |
| --- | --- |
|  | **再生設定**<br><br>• **フルスクリーンで再生**<br>画像全体が表示されるように、画像サイズを拡大／縮小して再生します。画像サイズの縦横比が 4:3 以外の動画は、画面の上と下に黒い帯が入ります。<br><br>• オリジナルサイズで再生<br>原寸の画像サイズで再生します。画面サイズ（640 × 480）より大きい画像サイズの場合は、はみだした部分は表示されません。 |
| 音量  | |
|  | **操作音**<br><br>• **オン**<br>• オフ |
|  | **バックアップ完了音**<br><br>• なし<br>• 短い（音量少）<br>• 短い（音量大）<br>• 長い（音量少）<br>• 長い（音量大） |

| 設定項目 | 設定内容<br>設定値（太字：購入時の設定） |
|---|---|
|  | **音量**<br>1　←　**10**　→　24<br>（小さい←　　　　→大きい） |
|  日時 | **日時**<br>年／月／日／時／分<br>（2006 年 1 月 1 日 0 時 0 分） |
| |  **日時表示形式**<br>• **年月日**<br>• 月日年<br>• 日月年 |
|  言語<br> | **言語**<br><br>• 日本語<br>• English（Intl.）（英語）<br>• 中文（繁体字中国語）<br>• Francais（フランス語）<br>• Deutsch（ドイツ語）<br>• Italiano（イタリア語）<br>• Espanol（スペイン語）<br>• Nederlands（オランダ語） |

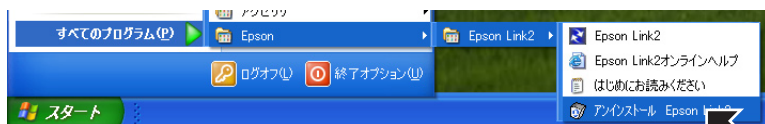
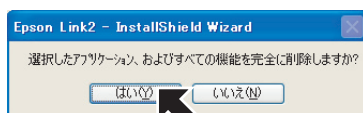
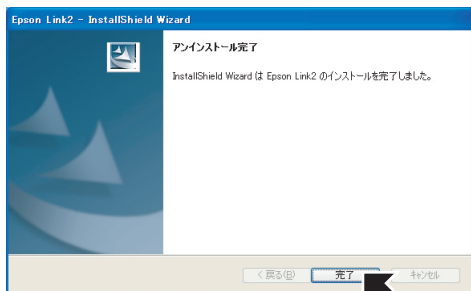
| 設定項目 | 設定内容<br>設定値（太字：購入時の設定） |
|---|---|
| 容量確認<br> | **容量確認**<br>CF カード残容量／総容量<br>SD メモリーカード残容量／総容量<br>HDD 総残量／総容量<br><br>総使用量<br>「バックアップデータ」使用量<br>「フォト」使用量<br>「ビデオ」使用量<br>「ミュージック」使用量<br>を、それぞれ確認できます。<br>※設定はできません。 |

付録

# Epson Link2 の削除方法

Epson Link2 を削除（アンインストール）するときは、以下の手順に従ってください。

## Windows の場合

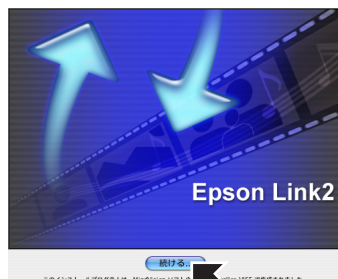
1 [スタート] メニュー－ [すべてのプログラム]（または [プログラム]）－ [Epson] － [Epson Link2] － [アンインストール Epson Link2] の順にクリックします。

2 [はい] をクリックします。

3 [完了] をクリックします。

以上で Epson Link2 の削除は終了です。

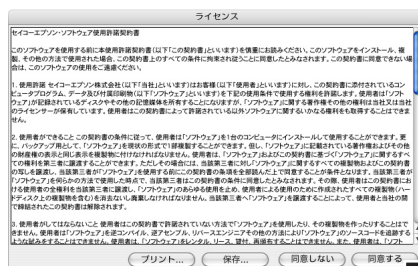
## Mac OS X の場合

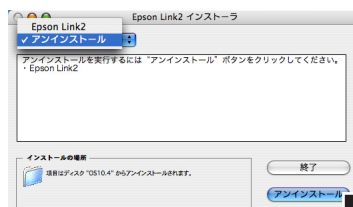
アンインストールするには管理者権限が必要です。

1 ソフトウェア CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

2 [Epson Link2] フォルダをダブルクリックします。

3　［Epson Link2 インストーラ］アイコンをダブルクリックします。

4　［続ける］をクリックします。

5　画面の内容を確認して［同意する］をクリックします。

6　プルダウンメニューから［アンインストール］を選択して、［アンインストール］をクリックします。

Epson Link2 の削除が実行されます。

7　アンインストール完了のメッセージが表示されたら［OK］をクリックします。

8　［Epson Link2 インストーラ］画面の［終了］をクリックします。

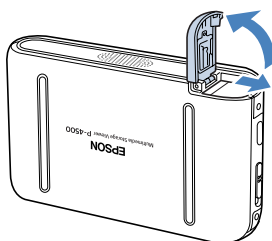
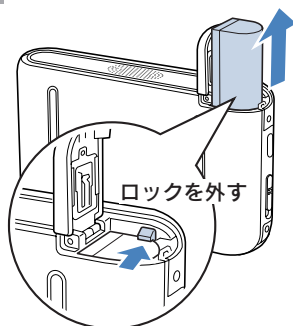
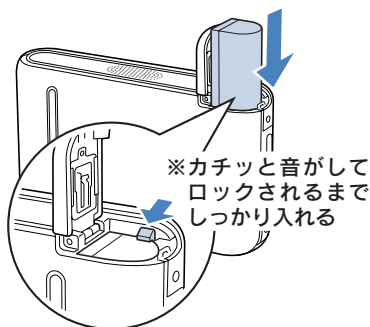
以上で Epson Link2 の削除は終了です。

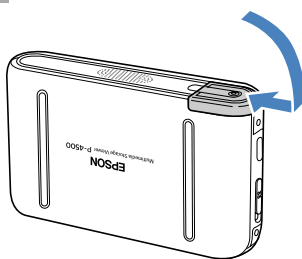
# バッテリを交換する

本製品は「リチウムイオンバッテリ」を使用しています。充電しても使用時間が短くなってきたとき、また、オプションバッテリ（型番：PALB3）を購入した場合などは、以下の手順でバッテリを交換します。

**！注意**

バッテリを交換するときは本製品の電源をオフにしてください。また、AC アダプタを使用しているときは、いったん AC アダプタを取り外してください。

1. バッテリカバーを開けます。

2. バッテリを取り出します。

3. 新しいバッテリを入れます。

4. バッテリカバーを閉じます。

**！注意**

不要になったバッテリは、捨てないで最寄りの充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。なお、バッテリパックは＋極、－極の金属端子部をテープなどで絶縁し、分解せずにリサイクル箱へお出しください。
詳細については、社団法人電池工業会小型二次電池再資源化推進センターのホームページをご参照ください。
< http://www.JBRC.com >

Li-ion

# 商標・規制などについて

## 本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

**！注意**

海外旅行の際は本製品を手荷物として機内に持ち込んでください。空港での荷扱いによっては大きな衝撃を受け、本体が破損したり、データが壊れることがあります。

## 著作権について

写真・書籍・地図・図面・絵画・版画・音楽・映画・プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

## ライセンスについて

●ISO 準拠の MPEG4 の再生について
本製品は、使用者が私的且つ非商業的用途で、(i) MPEG-4 ビジュアルスタンダード（MPEG-4 VISUAL STANDARD）に準拠する映像（MPEG-4 映像” MPEG-4 VIDEO”）をエンコードすること、および / または (ii) 使用者の私的且つ非商業的活動によりエンコードされた、および / または MPEG-4 映像を提供することについて MPEG LA よりライセンスを受けた映像プロバイダより得られた MPEG-4 映像をデコードすること、について MPEG-4 ビジュアル特許ポートフォーリオライセンス（MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE）の下にライセンスを受けた製品です。上記以外のいかなる用途についてもライセンスの許諾および黙示の許諾はなされておりません。宣伝、内部および商業使用ならびにライセンスに関する追加情報については、MPEG LA, LLC より取得することができます。
詳しくは <HTTP://WWW.MPEGLA.COM> をご覧ください。

●MP3（MPEG-1 Layer 3）再生について
MPEG レイヤー 3 オーディオ技術（MPEG Layer-3 audio coding technology）はフラウンホッファー IIS（Fraunhofer IIS）およびトムソン社よりライセンスされた技術です。

## 商標について

●Macintosh は Apple Computer,Inc. の商標または登録商標です。
Microsoft、Windows は米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。

●Microsoft®Windows® Millennium Edition operating system 日本語版、Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版の表記について本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows Me、Windows 2000 と表記しています。Microsoft®Windows® XP Home Edition operating system 日本語版、Microsoft®Windows® XP Professional operating system 日本語版の表記について本書中では、Windows XP と表記しています。また、Windows Me、Windows 2000、Windows XP を総称する場合は「Windows」、複数の Windows を併記する場合は、「Windows Me/2000」のように Windows の表記を省略することがあります。

本製品が対応している Mac OS のバージョンは以下の通りです。
　Mac OS X v10.2、v10.3、v10.4
　本書中では、上記各オペレーティングシステムをまとめて「Mac OS X」と表記していることがあります。また、アップルコンピュータ社製のコンピュータを総称して「Macintosh」と表記していることがあります。

●Pentium は、Intel Corporation の登録商標です。
●Compact Flash（コンパクトフラッシュ）は、米国 SanDisk Corporation の商標です。
●SD メモリーカード、SD ロゴは、（株）東芝、松下電器産業（株）、米国 SanDisk Corporation の商標です。
●商標 DPOF は、「デジタルカメラのプリント情報に関するフォーマット、DPOF」に従った製品であることを示すもので、キヤノン株式会社、イーストマンコダック社、富士写真フイルム株式会社、松下電器産業株式会社が仕様書 Version1.00 に対する著作権を保有しています。
●DCF は（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で標準化された「Designrule for Camera File system」の規格略称です。
●MultiMediaCard は、ドイツ Infineon Technologies AG 社の商標であり、MMCA（MultiMediaCard Association）へライセンスされています。
●DivX、DivX Certified、および関連するロゴは、DivX, Inc. の商標です。これらの商標は、DivX, Inc. の使用許諾を得て使用しています。
●本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。
●QuickTime and the QuickTime logo are trademarks or registered trademarks of Apple Computer, Inc., used under license.

## 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI ）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCI ルールの限界値を超えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

## 瞬間電圧低下について（AC アダプタ使用時）

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。（社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

## 電源高調波について

この装置は、高調波電流規格 JIS C61000-3-2 に適合しております。

## 本製品の不具合に起因する付随的損害について

万一、本製品（添付のソフトウェア等も含みます。以下同じ。）の不具合によってデータの記録、またはコンピュータ、その他の機器へのデータ転送が正常に行えない等、所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失等）は、補償致しかねます。

## ご注意

(1) 本ガイドの内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
(2) 本ガイドの内容は将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本ガイドの内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
(4) 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(5) 本製品が、本ガイドの記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。
(6) 弊社純正品以外および弊社品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合は、保証期間内であっても責任は負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。